松屋外集

九

835
24
4

帝國圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4

ガラス使用

松屋外集巻之九

目録

第一神の名義
神の初生(ハシマリ)
加微(カシ)を通ハして加牟(カム)
長官(カス)次官(ジヤウ)判官(サクワン)主典
動物(イケルモノ)は神といふ稱
植物(ウエモノ)は神といふ稱
自稱して大神(オホカミ)といふ
父を神と稱

大正
01.25

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

天皇御自神と詔ふ
君の名義　君は麁譽鍾愛の詞
下輩は君といふ
遊女を君と云　あの君　吾藝
吾兒　器財は君と
月を君といふ　君と神と通ふ例
高津神　天狗は天公
諸國高名の天狗　飯綱權現
狐神　大天狗小天狗ノ像の説
憂流迦　天狗の名目

天狗をよろづ歌　倶賓
天狗祭　天狗酒宴
天狗ノ假面
第二烏帽子櫻
第三葉守の神
のーは
第四ビハボン笛
口琴
第五松を植る傳、
松の大樹

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4
ガラス使用

第六杉のさー木の傳
第七のこぎり山
馬齒山
第八かまいさち
かくも座頭風鬼
第九鎗棒長刀ノ考
都留伎多知は片刃諸刃
并名義
加多奈は片刃の名
諸刃の劒ゟ柄あるハ矛

片刃の劒ゟ柄あるハ薙刀
矛の名義
木矛
金矛
兵仗の矛
儀仗の矛
杖
白杖
木棒
白梃
金棒
材棒
金材棒
方椎
鉄杖
車輻
金吾
五色ノ棒
ちぎ、り水
梧
金木
笞
チツテイ
槻椎
鉄槻
矛の名目
鎗の始
鏈の名目
竹鏈

薙刀の始　薙刀の名目
漢土の槍鎗類の名目
漢土の棒ノ類の名目
漢土の長刀類の名目
長脚鑽　狼牙棒　靭鏢
儀杖の鎗　打物の類　挟箱
挟竹　表ざし袋　鉄把
道具の者　槖鞬
第十女兒狗の妻ホおもる世話
犬戎

第十一孔子の婦
老子の父　四皓の家
父母と子
第十二夫婦喧嘩
第十三情
心　志　意
第十四棊子麵
かいもち
第十五楊枝隱
第十六天保の年号
第十七阿彌陀如來の

第十七波江（ハエ）と云詞
ラユフヤカス　生（ウ）
第十八ふぐべ
第十九山椒魚（サンショノイヲ）

はぢのみ魚　サンショノ魚
はぢの実の花　山椒（ハジカミ）の芽
第廿萠（モヤ）ー豆（マメ）
芽（メ）毛江（モエ）　はのぐむ
第廿一噴嚔（ハナひん）
くさめ　噴嚔（クサメ）の誦文

第廿二無事の時畏（オソ）べしー
第廿三功程（クヂヤウ）
長功　中功　短功
第廿四神社を古曽と云
蛇（ミ）　古佐（コサ）　土さ吹（フク）　杜（モリ）

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4
ガラス使用

松屋外集巻之九

武藏多西平小山田與清稿
越後高關平澁谷永保訂

第一神の名義

古事記巻上ノ。天地初發之時。於高天原成神名天之御中主神。次高御産巣日神。次神産巣日神。此三柱神者。並獨神成坐而隱身也。次國稚如浮脂而久羅下那洲多陀用幣流之時。如葦牙因萌騰之物而成神名宇麻志阿斯訶備比古遲神。次天之常立神。此二柱神。亦獨神成坐。而隱身也。上件五柱神者別天

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4
ガラス使用

神。次成神名國之常立神。次豊雲野神。此二柱神。亦獨神成坐。而隱身也。次成神名字比地迩神。次妹須比智迩神。次角杙神。次妹活杙神。次意富斗能地神。次妹大斗乃辨神。次游母陀流神。次妹阿夜訶志古泥神。次伊邪那岐神。次妹伊邪那美神。上件自國之常立神以下。伊邪那美神以前。并稱神代七代。上一柱獨一神。各一代。次雙十神。云々。神代記上卷。開闢之初洲壤浮漂。譬猶游魚之浮水上也。于時天地之中生一物。狀如葦牙。硬化爲神。號國常立尊。次豊斟渟尊。凡三神矣。乾道獨化。所以成此純男。次有神。渥土煮尊。沙土煮尊。次有神。大戸之道尊。大苫邊尊。一云。大戸之邊尊。亦曰沙土根尊。次有神。面足尊。惶根尊。亦曰渥土根尊。次有神。伊弉諾尊。伊弉冉尊。凡八神矣。乾坤之道。相參而化。所以成此男女。自國常立尊。迄伊弉諾尊。伊弉冉尊。是謂神世七代者矣云々。一書曰。天地初判。一物在於虛中。狀貌難言。其中自有化生之神。號國常立尊云々。一書曰。古國稚地稚之時。譬猶浮膏而漂蕩。于時國中生一物。狀如葦牙之抽出也。因此有化生之神。號可美葦牙彦舅尊。次國常立尊。大邊尊。亦曰沙土根尊。次有神。大戸之邊尊。亦曰大戸摩彦尊。次有神。大戸摩姫尊。亦曰大富道尊。次有神。吾屋惶根尊。亦曰吾屋櫃城尊。次有神。吾屋櫃城根尊。亦曰吾屋櫃城尊。次有神。面足尊。惶根尊。亦曰青櫃

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

尊次國狹槌尊云々。一書曰。天地混成之時。始有神人焉。號可美葦牙彦舅尊。次國底立尊云々。又曰。高天原所生神名曰天御中主尊。次高皇産靈尊。次神皇産靈尊云々。一書曰。天地未生之時。譬猶海上浮雲無所根係。其中生一物。如葦牙之初生渥中也。便化爲人。號國常立尊云々。一書曰。天地初判。有物若葦牙。生於空中。因此化神。號天常立尊。次可美葦牙彦舅尊。又曰。有物若浮膏。生於空中。因此化神。號國常立尊云々。古事記序云。夫混元既凝。氣象未效。無名無爲。誰知其形。然乾坤初分。參神作造化之首。陰陽斯開。二靈爲群品之祖云々。同書上卷八千矛神の歌。夜知富許能。迦微能美許登波云々。神功紀十三年皇大后歌。區之能伽志。伽能迦微等虛豫珥伊麻輸。伊破多々須周玖那彌伽未能云々。こゝらの書ゝ據て。神の初生。及伽微といへる辭の古例を證べし。伽微を通音ゝ加牟といふも。古事記上卷ゝ。伊邪那岐命告桃子。中略賜名号意富加牟豆美命云々。又神武卷中神武御歌ゝ。賀加是能。伊勢能宇美能云々。神武紀同。神功紀十三年皇大后歌ゝ。詞武保枳。玖流保之云々。の類お

ほのり。首を加字倍。巫をかうなぎ。かんなぎ。ふは。いと後の音便なり。然ゝ神の

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

爲言上なて。上とあるものと。崇敬(タフトビウヤマフ)よーの名こ。尊
まる。早(イヤシキ)こる。剛(ソヨキ)まる。弱(ヨワキ)まる。其物を稱揚ー。其物を
恐怖ーて。いふをゝ知べー。倭名抄、職官部。長官、神
祇(カミ)曰(ヒ)伯(カミ)省(ツカサ)曰(ヒ)卿(カミ)。彈正(タダシノツカサ)曰(ヒ)尹(カミ)。勘解由使(カゲユノツカヒ)曰(ヒ)長官。鑄錢司(ゼニノツカサ)、
同(シ)勘解由使(カゲユノツカヒ)職(ツカサ)曰(ヒ)大夫。寮(ツカサ)曰(ヒ)頭(カミ)。司(ツカサ)曰(ヒ)正(カミ)。主膳(カシハデノツカサ)監同
曰(ヒ)奉膳(カシハデ)。今案(イマオモフニ)。令有(リヤウニアリ)奉膳二人(カシハデフタリ)。爲(ナス)正(カミ)。署(ツカサ)曰(ヒ)首(カミ)。近衛府(コノヱノツカサ)曰(ヒ)大將(オホイノカミ)。
兵衛衛門等、四府(ヨツノツカサ)曰(ヒ)督(カミ)。内侍司(ナイシノツカサ)曰(ヒ)尚侍(カミ)。太宰府(ダザイノツカサ)曰(ヒ)帥(カミ)。
鎭守府(チンジフノツカサ)曰(ヒ)將軍(シヤウグン)。國(クニ)曰(ヒ)守(カミ)。郡(コホリ)曰(ヒ)大領(カミ)。
々。此外院、廳の執事(シツジ)。記録所(キロクショ)の上
かく長官を加美(カミ)といふはゝ上(カミ)なて。次官(スケ)。神武(須介)こ。記(キ)、

歌(ウカ)よ。字(ヅ)々譬(ヒガ)ば等(ラ)茂(モ)。伊莽(イマヘ)輸(ス)開(ケ)理(リ)虛(コ)稱(ナ)。後名抄、造作(ツクリ)
具(ソナ)こ。唐韻(カラヒ)云(イフ)。椿柱(ツキハシラ)支(ツカ)屋(ヤ)敬(ウヤマフ)也。今按(イマオモフニ)。和名須(スベ)介(カ)なども
る須(スベ)介(カ)もおなじく。副(ソヘ)助(スケ)る。亮(スケ)。助(スケ)。中少將(ナカノセウジヤウ)。佐(スケ)。典侍(ナイシノスケ)。大少輔(タイセウノスケ)。大少弼(タイセウノスケ)。大少貳(タイセウノスケ)。大少副(タイセウノスケ)。大少領(タイセウノスケ)。
扶(スケ)。など皆須介(スケ)こて。加美(カミ)こ副助(ソヘスケ)る官なせバなり。

判官(ジヤウ)。万呂(マロ)利古止(リコト)比止(ヒト)く。加美(カミ)須(スケ)介(カ)の次(ツギ)なり。
其(ソ)司(ツカサ)中の政(マツリコト)を執行(トリオコナフ)者なて。音(コヱ)よシヤウとよぶ。司(ツカサ)よりて
も。ハウグワンとよべり。祐。丞。忠。進。允。佑。典。膳。將と
監。尉。掌。侍。醫。監。軍監。掾。主政。從。なども
世、組頭(クミガシラ)。元締(モトジメ)。なども。いふ。のこと。
佐官(サクワン)。史。錄。主典。屬。令史。將曹。志。典。
なども皆サクワンなり。今俗書役(シヨヤク)といふ。目。主帳。書史。お
なじ。

をはじめ。下風(クダリカミ)の官。皆上首(カミ)こ祇承(シジヨウ)せバこ。

日本靈異記、中卷、第廿七緣(エン)よ。國守(クニノカミ)を國上と書た
るをゝおゝふべー。神代紀(上卷)よ。素戔嗚尊(スサノヲノミコト)勅(ノリシテヨロヅノコトヲ)蛇曰(ヲロチニ)、

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4
ガラス使用

汝是可畏之神。敢不饗乎云々。（神とのゝまへを指て飲明紀前ヨ。秦大津父者。中略山逢二狼相鬪汚血乃下一而洗漱口手。祈請曰。汝是貴神云々。万葉集八の巻ヨ。大口能真神之原云々。まゝの十三の巻大口乃真神之原従云々。冠辞考ヨ。（に八狼の事ニて。よく猛き獣ゆゑ。畏て真神といひ。又口ばしの上ハ口の真神ハ狼の事ニて。ハひのけものゝ上ハ狼の真神の原といへるハ。ひとしいへり。已上ハ虎を神といへり。推古紀十九年ヨ。豹尾をナカツカミノカハ。なぜ訓るし。豹皮をいひたゝまゝ虎豹を神とハ。天武紀朱鳥元年ヨ。虎豹を神といへり。）欽明紀六年ヨ。膳臣巴提便使于百濟。中略有虎連跡。雖曰汝威神。愛子一也云々。万葉集十六ヨ。韓國乃虎云神乎。生取尒云々。已上ハ虎を神といへり。推古紀十九年ヨ。豹尾をナカツカミノカハ。なぜ訓るし。豹皮をいひたゝまゝ虎豹を神とハ。天武紀朱鳥元年ヨ。虎豹を神といへり。）

こ。後漢書東夷傳濊の条ヨ。東夷傳濊の条ヨ。祭虎以爲神云々。祠虎以爲神云々。魏志ノ東夷傳濊の条ヨ。祭虎以爲神ト云々。と見也。皇極紀三年ヨ。東國不盡河邊人大生部多。勸祭虫於村里之人曰。此者常世神也。中略葛野秦造河勝惑民所惑。打大生部多。其巫覡等。恐伏其勸祭時人便作歌曰。禹都麻佐波。柯微騰。枳擧曳倶屢騰擧預能柯微乎。宇智岐多麻須母。此虫者。常生橘樹或生於蔓椒。蔓椒此云ニ波騰慕岐一。其長四寸餘。其大如頭指許。其色緑而有黒點。其貌全似養蚕云々。古事記上巻ヨ。其御頸珠名謂御倉板擧之神云々。此ハ神といへり。又同巻桃をハ神といふ。珠を神とハ。ぜひ引くり前ヨリ。

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

く蛇虎狼などゝ神と稱ひ。恐しさふ。上ざる物と好言崇謌よて。今俗雷を常ハカミナリといへど。其鳴むらくをりひ。雷様と尊稱がごし。橘虫をバ靈妙かるよしふて神といひ。桃や玉ひ褒て神といへるこ。又自尊大ゐ稱きること有り。神代記下巻ゐ。吾名是猿田彦大神云々。古事記雄略の段ゐ。吾名告。吾者雖悪事而一言。雖善事而一言。言離之神。葛城之一言主之大神者也云々。雄略記ゐ此外も見ゆ所見おほし。同記上巻ゐ。速須佐之男命。尒問賜之汝等者誰。故其老夫答言。僕者國神大山津見神之子

焉。僕名謂足名稚。妻名謂手名稚云々。とあるハ已が父を神と稱ること。又天皇ハ自神と宣ことふて。雄略の御歌ゐ。加微能美氏母知。御自の御手をのまへる。古事記雄略の段ゐ見やと詠ふまへる類擧るゐ遑ふし。〇君ゐ神の通音よて。上とある人といふ心はふおふ。日本紀ゐ。君。主。王。皇。天。帝。公。侯。君王。人主。皇帝。乘輿。車駕。陛下。王者。ゐどの字皆支美と訓。歌ふし同紀仁徳せ二年枳弥波夜那祇。推古せ一年枳弥我梅能姑褒之枳。齊明七年古事記ゐ。岐美何余曾比。巻上斗比斯岐美波

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

母。景行の段岐美加由岐氣那賀久那理奴。允恭の段恭奉ると見ゆ。又意冨岐美。古事記景行の段。仁徳の段。清寧の段。允恭の段恭奉ると見ゆ。仁徳五十年。允恭十一年。景行四十年。雄略五年。日本紀同十二年。武烈十一年。磨弊苑著澁。磨弊苑著澁。景行紀十七年。継体七年。推古廿年。此等の詞。万葉集に見えたるは枚擧にいとまあらず。こを麁響鍾愛の詞と用て。己より下さまの人ゐいへるは。万葉一の巻廿九丁右太上天皇御歌。君之當者。これは御子達を指奉りてなり。皇女歌。如何君之。御弟の大津皇子同巻四十丁右二上山歌。君香聞。此二ツは狭岑嶋の死人を指てよまれしこと。人麿歌。荒床自伏君之家知者云々。まゝ奈世流伴

三中歌。茵花香君之云々。まゝ往公鴨。此は判官大伴三中卿を指。下輩の史生土部龍麿古今春上。光孝天皇御歌。君ゐんめ春の野に出て若菜はむ。臣下をいへり。後撰恋下。左大臣歌。君ゐはらさま立よらば。下輩の女房ゐ拾遺雑春。具平親王歌。君ゐまひのこひしさま。下輩の公任朝臣をいふ。伊勢物語業平。母歌。見よく君。子ゐ平家集にへり。業平出。後拾遺恋三。祭主輔親が歌。君をしつゞ枝の。はゐうまへり。空穂藤原君ま。君ゐーしきこゆ。宰相の君ゐ。女房の兵衛の詞ま。下輩を指。源氏空蟬ま。中將の君ハいづくゐそ。空蟬君がはゐうまつり人を

指ていへるこゝ枕草紙春曙本二の巻十二丁右の
人をさへ。あのおしと。君。なぞいへむ。免づらのよ
うれしーとおしひて。下輩を指ふるいとおはのる
ぬ。今はおしひ出さるまい。ひとつふさつをあぐ。
八雲御抄一の巻十六丁右の。女房のはばねある
はべりなー。其人を君といゐぬ是古今の教訓
こゝと記ーおへせぞ。うけ引奉りがさー。上下親疎。
男女。僧尼。よかぎらば。古より親愛尊稱より用る詞
まて。殊に恋歌ない尊卑相親て君とよべる例
數べからず。遊女を君といふは。親愛の意ある
べし。又人の心をとりてあが君といふより。源氏夕
よ。あが君いきいでこはへ云々。紅葉賀よ。女あが
君おぼつかなきまゝ云々。狭衣二よ。猶あが君
云々。又あぼつかなきまゝ猶此文ちらさん事を
云々。落窪二よあが君見おはのりぞよ。崇神紀十年
云々。此外所見おほし。知不得免叩頭曰我君ハ神
とあるもおほし。我君一神云々。号叩頭之處曰我君
伎坐天乃夫支神社こゝ。思ひ誤りて。親愛の辞の吾藝を。古事記仲哀
段。忍熊王歌よ。伊奢阿藝云々。佐邪岐阿藝之
よ。伊弉阿藝伊佐智須比蘆苅祢云々。應神紀十一年
よ。伊奢阿藝云々。神功記。摂政元年段。吾君
ぞといふ。古事記傳廿一。日本紀歌解乃槻落葉上。ひがごと。應神紀

ま。伊弉阿藝とある伎。古事記はハ伊邪古杼母と
あるふてゝも。吾藝ハ吾兒なる事を知べし。神武紀ノ歌ま。阿紀ノ御誤
豫阿誤豫云々。ま。伊弉儺而毛。阿誤豫云々。万葉集九ま。吾思毛。阿子誤豫云々。伊弉儺而三
通簀穂俊陰吾子云々。同十九ま。此ハ比乳呑子ぬ韓國遠々。遺文云
空蟬ま。あごいらゝけて云々。同東屋ま。云々。あゝ同須ハ思ひおとご
又々。又さありそもあごねなバてこゞとのまゝて玖あひてよ云々。同々。
あごのいませ一人をねて出てちへ。おゝ〳〵ふいとのまざりらく皆ひて。ゝりなん。あるごくを通ひかくゝりおのきんて。ゝまらぬ心人なれ
ぶらふえまゝ云々。源氏ノ帚木ま。あずあごハそこゝ寐よ。云ね
のゝはハおりば云々。同夢浮橋ま。此外ま。あごらがう所せ見ハ。ゝ妹ゝ

づゝハ引出ば。漢文ま。史記申屠嘉傳ま。文帝謝亟
相曰。此吾弄臣。君釋之云々。又公孫弘傳ま。天子報
曰。惟所與共爲沿者。君宜知之。蓋君子善善惡惡。君
宜知之。君若謹行。常在朕躬。君不幸罹霜露之病。何
恙不已。廼上書歸侯。乞骸骨。是章朕之不德也。今事
少間。君其省思慮云々。漢書韓王信傳ま。上賜信書。
責讓之曰。專死不勇。專生不任。陛下何以加厚於臣
足以堅守乎。安危存亡之地。此二者。朕所以責於君
王云々。蜀志諸葛亮傳ま。先主謂亮曰。君才十倍曹
丕。必能安國。終定大事。若嗣子可輔輔之。如其不才。

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

君可自取云々。晋書杜預傳ま。帝從百僚臨會擧觴。屬預曰。非君此橋不成云々。容齋隨筆十五の卷呼君爲爾汝条ま。東坡が云。凡人相與號呼者。貴之則曰公。賤之曰君云々。品字箋新聲第七君字注ま。說文尊也。臣民之所共尊也。白虎通羣也。率土之所群載也。又夫人稱小君者。以其職理陰教。亦臣民所共尊也。又易家人有嚴君焉。父母之謂也。又百體稟命一心爲天君。妻妾尊夫曰夫君。東方朔謂婦爲細君云々。曰知録廿四の卷君の条ま。古時有人臣而隆其稱曰君者周公若曰君奭是也篇中言君奭者四但言君者六而成王之書王若曰君陳穆王之書王若曰嗚呼君牙皆此例也猶漢時人主稱丞相爲君侯也漢書覽爲御史大夫奉觴上壽制曰敬擧君之觴禮記坊記云大夫不稱君恐民之惑也故春秋傳中稱君者皆國君然亦有卿大夫而稱爲君者莊十一年楚鬬廉語屈瑕曰君次于郊郢以禦四邑襄二十五年鄭子産對晉士莊伯曰成公播蕩又我之自八君所知也成文十年與楚范巫矇似謂王子西曰三君皆將强死并二臣通謂之君至家臣則直謂其主曰君昭十四年司徒老祁慮癸謂南蒯曰群臣不忘其君二十八年晉祁盈之臣曰愁使吾君聞勝與臧之死也以爲快

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

哀十四年宋司馬命其徒攻桓氏其父兄故臣曰不可其新臣曰從吾君之命是也（猶鄭伯有之臣稱伯有爲吾公）儀禮喪服篇公士大夫之衆臣爲其君布帶繩屨傳曰君謂有地者也鄭氏曰天子諸侯及卿大夫有地者皆曰君（晉語三世仕冢君之再世以下主之）喪大記大夫君孔氏曰大夫之臣稱大夫爲君周禮調人註主大夫君也此則上下之通稱不始於後代矣人臣稱君自三代以前有之孟子衆曰讀蓋都君漢書高帝紀爵或人君上所尊禮師古曰爵高有國邑者則自君其人故曰人君也上謂天子漢時曹椽皆稱其府主爲君至蒼頭亦得稱其主人爲君後漢書李善傳君夫人善在此是也女亦得稱其父爲君漢書王章傳我君素剛先死者必我君是也婦亦得稱其舅爲君禹雅姑舅在則曰君舅君姑沒則曰先舅先姑淮南子君公知其盜也逐而去之列女傳我無樊衛二姬之行故君以責我是也喪服妾爲君鄭氏註曰妾謂夫爲君者不得體之加尊之也雖士亦然云々。正字通君字注云。又夫稱婦曰君。東方朔上賜食。食已懷其肉。曰歸遺細君。又同輩彼此相稱曰君。曰使君建節衛命。曰今日得御李君矣。耿況謂寇恂曰使君建節衛命。

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

以臨四方。又朝廷辟召。或去或就。皆曰徵君聘君。又循吏民心畏愛者。稱之神君云々。又凡動植之物稱君。北齊後主號鷹曰凌霄君。晉史王子猷愛竹曰此君。韓愈毛穎傳管城子累拜中書。呼爲中書君。酉陽雜俎。稱鼠爲社君云々。白氏文集十九の卷栽松詩曰。愛君抱晩節憐君含直文。欲得朝々見。階前故種君。知君死則已。不死會凌霄云々。此は松を指て也。李太白が集補註入峨眉山月歌曰。思君不見下渝州云々。君とは月をいへり。万葉集五の卷十六丁の左おほ一。万葉集五の卷十壹岐守板氏安麻呂が歌曰。

波流奈例婆宇倍母佐枳多流烏梅能波奈岐美乎於母布得用伊母稱奈久毛いへるこゝろ。さゝ君上など通例也。博物志二丁の卷右外國の条曰。房風之神二臣。以塗山之戮。見禹使怒而射之云々。防風之神と君を書り。房字注曰。人之出于類者。亦得以神稱。國語禹會群神于會稽之山。註群神各國之君也。君主山川。亦得以神稱之云々。按ずるに今本の文與此國語異。魯之語下の。ま丶創聲第三十。仗諧上字注曰。高也。尊也。貴也。下之對也云々。又稱上云々。國語齊語注曰。上。君者。不敢直言其君。而稱上

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

君長也云々。蔡邕獨斷ニ。漢天子正号ヲ曰ニ皇帝一云々。
史官記事ヲ曰レ上云々。ま〻上者尊位所レ在也。太史ノ令
司馬遷記事當レ言レ帝。則依違但言レ上。不レ敢渫瀆言尊
号ヲ尊王之義也云々。漢書宣帝紀注ニ。師古曰。上者
天子自謂也云々。此上ハ君ト通ヘル詞ニ家語五帝德篇ニ。宰
我曰。請問禹孔子曰云々。其功爲ニ百神之主一云々。此百
神ノ義ニ君此外から書ニこれ見ヵ。さて大祓ニ。高津神乃災とあるは。天狗の災ニ。高は天ニ同
きよー古事記傳三之巻ニ。高天原。高光。高御座。高行
や隼。などいふ詞を擧て證レいへり。津ハ助辭ニ。

神は例の公の通語ニ。天公と書ハ。天神よりしおとー
ゐるまや。狗ハ公と同音の字ありてバ。借用ーふて。延喜を延木。參議を參木三木ありと書類ニ。
天狗星を引て説んと誤ニ台記。久壽二年八月廿七日
の条ニ。親隆朝臣來語曰。所以法皇惡禪閣及殿下
余者。先帝崩後。人寄帝巫口。先年人爲レ詛レ朕。打釘於
愛宕護山天公像。曰ニ故朕曰不レ明。遂ニ以早世一。法皇聞
召其事。使人見件像。既有レ其釘。即召ニ愛宕護山住僧一
問レ之。仰申云。五六年之前。有レ夜中口口口口口口口
美福門院及關白疑入道及左大臣所爲。法皇惡レ之一。

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

雖難取信。天下道俗。所申如此。先日成隆朝臣略語。此事。今聞兩人說。怖畏不少。但禪閤及余。唯知愛宕護山。有天公飛行。未知愛宕護山。有天公像。何況祈請乎。蒼天在上。白日照臨。怖々云々。此天公ハ。愛宕護山。緣起山城名勝志九の卷ニ所引ニ。有大杉。彌天幡地。天竺大夫日良。唐土大夫善勇。日本太郎坊。太郎坊一名。栄樹太郎坊。各將其眷屬。現千大杉之上。有九億四万餘天狗。神頭鬼面。被毛戴角とある天狗ハ。おおむね。天公の字。聽てメカツカミと訓べし。壒嚢抄八卷のニは。日本紀ニ天狗ト書テアマグツ子トヨメリ。とあるぜ。日本紀かゐは天狗星の事ホテて。天公ハほりべ。漢書王莽傳下ニ。吾天公使也。天公使我告亭長曰云々。晉書五行志の百姓謠ニ。天公誅汝云々。同書成恭杜皇后傳ニ。傳言。天公織女死。爲之著服。至是而后崩云々。と見え。雷公ハどゝ。神といふべきを公といへるハて。倭漢その例おほのり。然て愛宕山のきゝりくまう坊。田村草太郎坊。樫木草來記。應仁略記。下。愛宕山白雲寺緣起。栄術太郎。愛宕緣起平野の次郎坊。屠樫草子。類聚名物考。田村草子上。神祇六。東山の三郎坊。田村草子上。謠曲鞍馬の大天狗。鞍馬天狗。謠曲葛城の大天狗。葛城天狗。謠曲遠江秋葉山の三尺

坊。後漢三才圖會六十九 駿河冨士太郎、鞍馬天狗謠詞 相模、大山の天狗。後漢三才圖會六十七 同國小天狗。東遊行嚢 上野、妙喜山の法性坊。上野國志、甘羅郡ノ部 同國、最乘寺の道了權現。抄東遊行嚢十三 中之嶽の長清法印。上野國志、甘羅郡ノ部 同國、新田大光院の呑龍上人。上野國志、新田郡ノ部 信濃の飯綱三郎。鞍馬天狗謠詞ハ見ヤ。飯綱三郎天狗謠 飯綱山ハ伊那郡ニアリ。本宮、里ノ宮、二処其間一隠ノ里許隔リ。伊那縣中澤山ニアリ。祭神ハ天狗ニシテ。飯綱ノ法ハ狐ヲ鞍馬ニ祭ル天狗ノ謠詞ニ吉尼ニ栞、諸尼ニ栞、倭訓栞、三ノ巻。ちごノ法トイヘリ。さてハ飯綱ノ法ハ狐ヲ

祝。祭。三狐神同座。神也。故。亦名。専女神。也。斎王。専女。此。神祇本源の二説。元々。此。縁也。云々。

集。六の巻。御倉神の条。同七の巻。調。御倉神の条。同七ふ引さり。又狐を仕ふといふ。康冨記。永廿七条。

年八月弟等十三日の祭也。今朝室町殿。医師高天。被禁獄。而昨日於御臺。御方。被縛件狐。仰験者。被加持之。依此事。高天ガ狐之所為。然。

父子人の祭云々。此間仕ふ狐之沙汰風聞。

逃出。則被召取。之。有虚説。未代之。

奉詛付之条露顕。云々。仍今朝被召取陰陽頭。是仕狐之由。

之作。浅間敷々々。同十月九日の条。後に聞。

因人。高天。昨日被流讃岐国。俊経朝臣も同国被流之。

但先。俊経朝臣。於秋野。道場出家。云々。是等皆狐仕。

之輩也。と見。栄花物語。疑。の巻の御堂関白道長。

伊の御病悩し。僧ど。の加持。の狐を付つらるゝ。ためりき。伯耆。

後陀。

大山の伯耆坊。鞍馬天狗謡詞。讃岐。白峰の相模坊。同上。豊前。

彦山の豊前坊。同上。

あどの類いづれも虚空飛行の

天の小天狗。同上。天狗の王。旧本。昔。今天狗法師。旧本。昔。今

天狗山臥。照光記。建久七年六月の条。古今集。十。聖財集。中。太平記。十。天狗道。

著聞集。十七。

古事談。三。盛衰記。八。太平記。廿五。

三。処。同廿七。未来記。草子。

十八。未来記。草子。善天狗。砂石集。悪天狗。同上。天竺の天狗。同上。

震旦の天狗。同上。七天狗。塩嚢抄。八天狗。正神祇。破偽顕裏。

雑書。百廿四。宝積類。天狗の姿。参考保元物語下。

天狗の若山臥。未来記。水葉天狗。諸国里ぐや。

狗。破泥鶏天狗。旧本。今昔。廿。荒天狗。鞍馬天狗謡詞。供の天

狗。同上。天狗の法罰。未来記。天狗の変化。伯耆の巻。町殿日記。十室

九。天狗むけしの。平治物語。下。盛衰記。

十七。太平記。廿三。天狗の形。太平

記せ一天狗の顔。盛衰記八天狗のやうなる者。同十八天狗の羽。新撰犬筑波集天狗の爪。小窓雑筆四。萩原隨筆五。天狗問答。高野大師行狀画畫ノ二天狗付。魅才畫會山禽部。五。古事談三ノ二。長門平家十。平家集一。事談三ノ二処。發心集一ノ上。八ノ二処。砂石集。天狗の所爲。平家記六。盛衰記一。同盛衰記廿四。同廿四ノ条。天狗根性。盛衰記十八。天狗ま成。太平記廿六。長門平家十二。百練抄五。太平記廿七。天狗の兵法。太平記未來記草子。天狗の詞。鞍馬天狗、謡ノ詞。木朝偃諺ノ六。天狗の笑。盛衰記廿四。天狗の談ニ。天狗の落文。應仁記、上。應仁別記。天狗の乘物。太平記廿七。天狗の遊石。諸國人談ニ。天狗の栖。平沼物語下。平家記九。義經記。天狗倒。太平記、晉城天記、廿。天狗橋。奥羽觀迹聞老志六。宮城郡上。天狗櫻。揭暁筆、鳴

天公まて。其像は神代紀の猿田彦大神のさま歟まねび。小天狗は小ーさまをのへて。金翅鳥王などを金抄。佛像畫彙。る像は尊容おもひよせ。作り設ー。まや。海内奇觀、四の巻の吳山畫説、龍池の条。三僧雨を祈るよ。雲、上は法師になりて。大氛より水をそへぐさまあり。外よ三神ありて。皆雨を降らんとするさま。其内一神ハ。大いの小天狗のごとく。翳あり。兩翼あり。手よ鍬やうの物をもりさりて出ゝる像欤。可考。正法念經第十よ。憂流迦。翻云天狗、また第四大天狗など見

えゝるし。光物ゝて。本朝の天狗ゝハ殊ゝ。天狗。空穂。後撰ゝ二処。栄花。根合。同下ゝ布引の瀧ゝ二処。今昔物語ゝ十。同廿八。古今著聞集ゝ二処。続古事談ゝ五。古今集ゝ八ゝ三処。続古事談ゝ五。十訓抄ゝ一。砂石集ゝ二。十訓抄ゝ一。砂石集ゝ八。三国伝記ゝ三。同九。同十。宗長手記ゝ上。保元物語ゝ上。平治物語ゝ下。平家物語ゝ二処。同十一。源平盛衰記ゝ三。同ゝ四。同ゝ五。長門本平家ゝ八ゝ二処。同十三。同廿六。草ゝ三処。文正記ゝ八。同廿八。太平記ゝ二。同七。慶仁暑記ゝ下。鎌倉大草紙ゝ下。同廿三。同ゝ二処。同ゝ四処。真言傳ゝ四。同ゝ五。同ゝ三処。地蔵霊験記ゝ八。神明鏡ゝ上。保元物語ゝ上。盛衰記ゝ五。畠山記ゝ廿。浄瑠璃姫ゝ十二段。未来記ゝ下。浄瑠璃ゝ吾妻鏡ゝ五。小天狗。天狗。天狗ゝ八。保元物語ゝ上。天狗。天狗ゝ鞍馬天狗謡詞。天狗ゝ鞍馬天狗謡詞。天狗ゝ鞍馬天狗謡詞

天狗説。服部元喬の高雄山、移文の説などもおなじ。隣し。正三年、猿樂能の事をいへる条も。倶賓の所爲とある八。狗品まて。人品の對語なるべし。又俗も天狗波旬といふを。を借て書るなるべし。天魔波旬の誤し。波旬八惡者惡意惡法の義と。翻譯名義集。二の法華經科註。二の上巻のあとも注せり。天狗の事假寐夢。三の類聚名物考。神祇部、六十三谷響集。二の學海餘滴。九の牛馬問。二の結毦録。年山紀聞。六の閑田耕筆。三の論じ。秉苑日渉十二の巻なども。星の天狗。龍の天狗。獣の天狗。禽の天狗。草の天狗。石の天狗。仙の天狗。の證を擧ていひしなど。共も天狗の字も泥と伐免きば。年中行事秘抄上巻もも。月舊記云。天平勝寶五年正月四日。勘口云。黄帝伐蚩尤之時。以此日伐斬之。其首者上爲天狗也。其身伏而成蛇靈也。是以風俗。此日亥時煮大小豆粥。而爲天狗祭於庭中案上。則其粥上凝時取東向再拜。長跪服之。服者終年無疫氣也云々。拾芥抄、歳時部を引ていひしごとし。晉書を引ての説を委とれば。世風記を祭る伐。天狗星の事も天文志の中の説を引てい八孔苑日渉へり。此天狗祭八天狗星を祭る儀式なるや。京都愛宕寺の正月十五日の餅粥の節供も牽合せるなや。晉書、正月二

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

日ノ天狗酒宴(サカモリ)のこと。雍州府志。四巻の滑稽雑談。一の巻あどを見よ。王勝問八巻のよ。王(ワウ)の鼻(ハナ)といふ物天狗(テングノ)面(メン)といふ。こまを猿田彦(サルダヒコノ)神の御形(ミカタ)ありといふあさど。胡兒のかさ始よ氏文集を引ておるべきの。貴徳樂(キトクラク)の舞の面(オモテ)まさく王(ワウ)の鼻こ。ともいへり。

第二烏帽子櫻

地藏靈驗記十の巻十四六段よ常州ヨリ北ノ方ニ金山アリ其山ノ金ヲ堀(ホル)男アリ家ハオノヅカラ豊(エタカ)ニメ一子モナカリケリ云々三界流浪ノ身トナリテ高野粉川ノ行者トゾナル兼テタノハ

ヘ持タル金三百兩ヲシタヽメ持(モチ)其外資財郎從牛馬ヲ打捨西國修行ニ出ケルガ尾張國宮地山ニテ山賊ニ値(アヒ)ステニ危キ所ニ元來武勇ノ荒者ナレバ道心モ忘レハテヽ此ヲ詮(セン)トゾ思フホトニ梓(アヅサ)ト云木ヲ杖(ツエ)ニツキタリシガ取ノベテ散々ニ防ギ戰ヒケルニ太刀ニ一當(アテ)アテラレテモノヽカズナラズ打折(ヲリ)ケリ膚(ハダ)ニ刀ヲ帶シツルガスハコヽゾ詮(セン)ナルハトヌキ持テ戰ケルガ七八人ノ敵ニ三人切伏(フセ)ノコル奴原四方ヘ追チラシケル所ニ宮地太郎俊綱唯一人殘リテ此手強(コハ)キ男

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

ニヨセ合テ疵ヲモ付ズ引トキハ人ノ頭トナルモノ、後日ノ沙汰モイカバトテ引返シ命モヲシマズ戦ケリ是モ危ク見エケルニイカバシタリケン足場ノアシキ所ニ岸近ク草ノシゲリタル所ヲ平地ト心得テフミハヅシテ落入リタルヲ俊綱得タリヤオヽト追伏テ悉ク奪取リ入道ニ縄ヲカケ宿所ニ帰リ櫻ノ木ニイマシメ付テ夜ニ入テ首ヲ切リ死人手負ノ心ヲナグサメント酒ヲノミテアソビケリ入道ハ本願空カラントヲ悲ミテ地蔵ヲ念ジ奉ケリカヽリケル所ニ修行者一人来リテノゾキ目シテ立タリ俊綱ガ云ク何事ニノゾキ目スルタメバシ案内ヲ見ル同類カト云ケレバ是ハ都ノ者ナルガ御酒ノ御シタベリヲノゾミテ推参シ侍ル由ヲ申ケレバ酒氣ノ輩ヤサシヽ面白シト末座ニ請ジタリ都ノ人ト聞バ心ニクシ歌ヨミタマヘトゾ所望シケル歌道ハ能モシラ子ドモ當座ノ題ヲ下シ玉ハレ仕ラント申ケレバ俊綱ユビサシテアノイマシメオキタル男ヲ讀玉ヘ庭モ櫻モ皆ヨミ入レ玉ヘ引手物ハ望ニ任スベシト云ケレバ承ルト

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

云テ

此庭ノ花ノ本ニテナハツキヌ烏帽子櫻ノヤ
サ男哉トヨミ玉ヘリ面白シトテサベメキテ所
望ハ何ヤラント申ケレバ遁世者ノ習ニテ財寶
ハノゾミナシ歌ノ題ニテ侍レバアノ入道ヲ下
シ玉ハリテ此御縁ニ引スエ玉ヘト申ケレ
バ罪科至極ノ奴ナレドモ約束ナレバ力ナシト
テ索ヲ解免シケレバ行者請取廣縁ニスエメリ
云々ホは地藏菩薩の旅僧ヨ現じて金堀男が難
を救ひし烏帽子櫻は一種の櫻、名よや百脈
根を工ボシクサ本草啓蒙八の巻山草部石蚓を工ボシガヒ
の同四十二の巻介部あどいふ類あるべし今常陸國の俗元
服ゐるを烏帽子著初ち伐木の名ヨよせて風流ないへり是ゝ元服して
と見ゆそは伊勢物語ヨ文の上書ヨ武藏よりと
書べきを國の名物の鐙を風流ヨとりなして武
藏鐙と書ゝる類なるべし又工ボシは工ビスの
傳語ヨて工ビス櫻あとの心ヨ
スグスリあどいふ名ゝ苟藥の花の色ヨ据てい
ひゝらんよハめでたき花よさる名をよべると

第三葉守の神

後撰雑二は枇杷左大臣よう侍りさゝの葉茂りて侍りける家もとめ侍りけせバ千兼(チカヌ)の相忘りて侍りける家ゝとりはゝのはゝけをハ俊子

こゝやどをいつゝゝゝてゝゝゝ

枕草紙春曙抄本三の巻八丁右まかーは木いと栃ちーもりの神のまたらんもいとこのーこー兵衛のかけざうおとをいふらんも栃うー云々

源氏物語柏木湖月本四十二丁右まこのーは木とかへでとのゐのよりけまさりやのたはーとるをいのある契りふのにゐあへるたのまーきよなどのさまひてもおもひやるべくおのびやのまさーよりて

とふらはるゝーの枝まおふらさかん葉守の神のわるーありきとみにのとのへだてあるほど

こそうらめーけまとてなげーまよりねさまへりおよびにおさまといとをいうたをやぎさろ栃やとこをのれはきぐろふ此御あへおらへきこもる少将の君といふ人しゝて

かーは木まの葉守の神たまさびとも人おらにべさやどのこびゐ云々河海抄は後撰柏木まの葉守の神のまーけるを云々大和物語云枇杷殿左大臣仲平よりとーこお家まかーは木のありけるを折(おり)またまへりけりを栃ちせて書つけて奉りけるとぞやとをいつおらひての云々のーは木ま

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

葉もりの神のまーけるを云々此贈答の心欲葉
守の神ハ樹神の名こ但基俊云葉守神ハなべて
の木をバ非ス守ニ唯柏伐のミ守ル也弘仁式三綱柏ノ
所ヲ委ク見ユ云々雖レ然古人皆餘木ヲ詠ムヲ如何云々
新釋ニ葉守神といふ事いと古き物ニハ見えね
どさる神のおはする傳ヘ有ーまものこ云々
綺語抄中巻神仙部ニもれもりの神葉をもる神と
いふこ
なくれなのはもりの神もまーけるを忘らで
伐りまーたいりおこるよ

按ニ此歌後撰集大和物語ニ出ルと異同
あり

俊頼無名抄段百五ニ
せゝやど伐いつゝらーてのゝらのものゝら
ー顔ニも伐りまおこする返しー
かーは木の葉守の神のまーしを忘らでぞ
伐りーたゝりおさるゝ木ニを年來家ふありけ
るかーはを伐りまはりはーまりけるをみて
枇杷の大臣ニ奉りゝりける歌こ葉守の神とハ
木の葉をまもる神のおはするこ云々

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

按ㇾ神のまーけ𠮟の句神のまーまにホ作
もろハ他ㇾ異こ
狭衣草子活字本三の上巻四十九丁左ㇾ六月十日よひのいと
あつき𠮟るつゐ二条の宮ㇾ若宮ぐー奉り
てゐーつゐㇾ住ふㇾ俄ㇾ木のこの下風涼ー
雨のおどろくーきまかーはきあげて見出ー
く吹いきたまバみにきこーまいたくまりさはゐ
なへるㇾおゐぶーはいげふ
ふも目そぐまりて
かーは木の葉守の神ㇾなど
ぢとちぎらざりけん
按ㇾおゐぶーはと有り一本ㇾおゐふこのー
はいと書(カケ)るもありおゐぶこのーはと
といふ義このーはハ木(コ)葉(ノハ)の總名こ
袖中抄廿の巻廿四丁左ㇾ葉守の神
かーは木ㇾ葉まりの神のまーけるを忘らで
そ我りーたいりなさるㇾ顕昭云まりの神と
ハ樹神也よろづの木をまもる神こさて葉をㇾ
まる神と云也然ㇾ家成卿歌合落葉の題ㇾ落通
憲

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

あまおほひ葉もりの神ないのり見んたい
その紅葉ちりや殘ると基俊判に云々もりの
神ハむかへそかへでの木まもる神ハあらじ弘
仁式の三綱柏のところ見えて侍を
ど事おほくて申侍らじ私云此事の證ハかのの
ハは木の哥をひろり柏木茂のミやもるといへ
るハや弘仁式をたしのるも可考也此哥だのりハ
てハいのじと聞ハ柏木をたづぬもバ詠ル歟他
の木をまもらんをきらふべのらバ通憲さゞめ
て不レ暗二於三綱一柏歟無名抄に云葉もりの神とハ

木の葉をまもる神の木ハおはにるこ云々
八雲御抄三の下巻六丁木部柏の条ハもりの
神在二此木一云々
言塵集三の巻十一丁右ハ
とぶさたつ足柄山ハ舟木きり木ハきりかけ
つあふら舟木を此哥の心ハ杣木ハ尽くるくひの
上ハ其木の末を立るこ葉守の神茂其梢ハいへ
ふ志るしといへり云々
吳竹集一の巻、波部ハ葉守神とハ木葉を守る神
こ

玉柏忘げりなけりか五月雨は葉守の神のと
免ふるまで新古今夏基俊
時しもあれ冬も葉守の神無月まむらか成ぬ
杜の柏木新古今冬慶算る神もおき月まちる木のも
のかなと人しれ不知ぬ
上同
上同
久保之取蛇尾下巻十一丁右
もれべて木の葉伐守ル神をいふなるべし云々
與清曰葉守神は枇杷左大臣の俊子をさして然
よみおへるふて實は葉を守る神のあるはあら

ば河海抄は樹神と釋せらるゝれど樹神の類
といふべし俊子のおしへの如くは葉を守る神
やおて葉を守る神はとりもなをさず樹神をもおもひ
よやて戯よみ出らもしくは後は葉を守神あ
るべし柏は古事記傳卅二の巻六十丁左はもと一の
樹の名はあらばいつもの樹ふまを飲食は用
る葉をいへり故書記仁徳の巻は葉字を書て此
云箇始婆とあり然るは又某賀志波と名負たる
樹は古より彼此とあるは中は常よく

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

用ひるとも也然ハ名づけ
の字を用ひるハいろ〳〵ろ古書とも
名の抄ハ櫛の字なハ出して和名加之波
ハいつその木をいへるかのあり此
レ若ハ今の木の世ハいへるかしの事
や凡て上代ハ飲食の具ハ多く葉を用ひ事
ま〻後ハ万葉二ハ家有者笥ニ盛飯乎
草枕旅尓ハ有者椎之葉尓盛飯乎
くるも餝ハ葉を敷もりて覆もして炊ハるから
炊葉の意ニて加志波とハ云るく比羅傳と云ふ
器も書記ハ葉盤と書ハ〳〵加
る物ハ又膳夫と云ハ飲食の葉を執あはうふの
ハの名ハ伊勢物語ハ海松を高杯ニ盛て柏をお
ひて出ハけるとある類も古のさまの遺也
ハ今世ハ食物の器ハ木草の葉とハいへるど
く飲食の具ハ用る葉の總名ハ松をもいかしは
空穂物語ニハ柏敷ともやハよりよべりと見ハ楢をからず
ハ厚朴をほゝのきはといふも葉ハ用
もいへり

第四ビハボン笛并口琴

文政七年八年の間江戸の兒童ビハボンといふ
口笛を吹て流行せり鉄をもて口ハ御むやうハ

作りゝるもの、清の六十七の番社采風考、口琴の条も削竹爲片如紙薄長四五寸以鉄系環其端御于口吹之名曰口琴又有制類琴狀大如梅指長可四寸窪其中二寸計釘以銅片另繫一柄以手按循唇探動之銅片間有聲娓々相爾女麻達于朗月清夜吹行社中番女悦則和而應之潛通情愫夏侍御有詩云不須挑逗苦労心竹片沿絲巧作琴遠韻低微傳齒頰依稀私語夜來深云々ヒハボンは口琴の類といふべし六十七字居魯滿洲旗人官吏科給事中番社采風考一巻藝海珠塵史部外記類

中ゟ收さりき又清の余慶遠目録ゟ録ハ作ゟ喻の維西見聞記ふゟ口琴竹片爲之長四寸濶三分刳虚之而中存一線之簧爲絃首尾横處長一分刳下其横處而絃寄於其面如是者三具絃粗細等而下以左手大指食指排持三尾視横齊處片之頭張口而置其正中於口間以右手食指中指無名指搏上中下片之絃之尾長處錯落而彈噓氣大小以定七均之高下古宗麼些那馬西番皆以筒佩之彈以應歌曲彈者身舞足蹈而與歌合節云々とあり余慶遠字璟度湖北安陸縣人こ維西見聞

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

記一卷藝海珠塵史部地理類中ヶ收む清人張洌
の滇南新語の口琴の条ヶ剖竹成箴取近青長三
寸三分寬五分厚一分中開如笠之管中簧約濶二
分簧之前筍相錯處狀三尖犬牙刮尖極薄近尖處
厚如故約後三分斬凹薄至離相連處三四分復厚
兩頭各鑿一孔前孔穿麻線如繯以左手無名指小
指挽之大食二指捏穿処如執柄横側貼腮近脣以
氣鼓簧牙其後孔用線長七八寸尾作結穿之線過
結阻以右手之食中二指挽線徐々牽頓之鼓頓有
度其簧閃顫成聲民家及夷婦女多習之且和以歌
之又一種寬僅半兩端瘦削中作一牙簧無孔線三
片并閧而音各異以左手前三指平執而吹右手前
三指參差搔其末亦咿嗄可聽似有宮商此惟二別
邏及闌州之夷女盛吹云々滇南新語一卷清人張
泂可撰ㇾ泂号西潭漢軍鑲藍旗人監生歷官雲南
迤西道有買桐軒集ニハ藝海珠塵史部地理類中
ヶ收ムり

第五松を植る傳

松を植る時節ハ寒國暖國の不同ありと雖とも
正月彼岸より二月中植ヶバ百ヶ一失ふ大水

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

の一尺より五尺ニ及ぶハ掘て鋸ニて根を挽切
りニゞ命根二三本を殘して切ニる廻りはよき
土を入ておく俗ニ是伐鉢といふ又根をまハし
ておくともいふのくして明年の二月移し植べ
し梢ハ鋸ニて切べし梢を切しざきを水ニ活(ツク)とし
松ハ沙地ニよし又黒土真土ニもよし濕地ハ相應
せざるよし勝成裕の中陵漫録四の巻ニ見ゆ
ニ橘春暉の北窓瑣談ニ松の木その根さしさる
やうニ枝ともさハものゝ枝ぶりを見てその根を
知べし外の樹木ニ大かゝ如此といへり與清曰

松ハ常陸鹿嶋郡ニ生るもの奇妙ニ小松を刈取
し跡ニ孫枝を生して栄ゆるハ他所ニ未タきゝ
ざる戯ニ引ぬきてなげ捨置ニよやがて生付(オヒツク)といへ
り余が見聞の松おほかる中ニ坂東ニて見しより
しハ相模國藤澤宿と南郷村の間ニハ松の原あ
り今ニ好き松四本生立て同國曽我山の六本松
早川尻の四本松本所小名木澤の三本松下総國
印幡沼辺の大松武藏多摩郡小山田村神明宮の
大松同郡下矢部村八幡宮の大松鹿嶋大神宮の
神木なと擧盡しかゝし高砂住吉武限辛崎の類

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

の名木ハ別ヨ古書を抄出シテ記ベシ

第六杉のさ一木の傳得

中陵漫録四の巻椙杉条ヨ杉ハ椙木ヨリ多ハ皮目の處少シ白ク其内ハ皆赤身ニ薩抄ヨテハ毎年四月の比杉の枝を二尺許ヨ切取り六本を二把トシテ山中の泉ヨ浸シ置事四五日取上テ赤土の泥中ヨ塗テ山野の空地ヨ杖を立テ穴を爲一深さ七八寸ヨ至る尤地の堅き處ハ穿つ事あ一此穴中ヨ椙む風吹時ハ廻縛ス雨露の潤を歴テ自堅定ルく大抵百本の内七八十本活是より手を附るヨ及ババ土地の宜き所ハ尤長一易一先春ヨ至テその木の素情を見立葉の先新葉伐出さんとスルを俗ヨ云あり採テ椙時ハ百ヨ一失あ一苗を仕立テ植るヨ勝サり云々與清曰櫬ハ今年延の若枝を椙ヨハ葉莖かゝまりてさ以長さ二三寸或ハ四五寸ヨ葉おほけをバ切捨てその本をよく切テ赤土の中ヨ黄色あるを採て煉テ丸くしてそを椙てさて植るこゝを殘王櫬トいふ良法ニ何の木ヨても此定ニ時刻ハ雨氣の日己の刻以前のよ一未明より巳刻ヨ

で伐限とにべーさて後ま度々水を溉ぎよー物
理小識九ま杉、姑不宜水壌種之亦發然挺茂不久
焦枯也と見ゆ

第七のこぎり山

安房上総の境ヨノコギリ山あり馬齒山と書べ
ー池北偶談三の巻林舍人使琉球詩ま三十六峰
瀛海環怒潮日夜響潺湲樓西一抹青林裏露出煙
蘿馬齒山射獵山頭望海雲割鮮洞酒酔斜瞳紙銭
桂道松楸老知是歸斯部落墳と見ゆ馬齒山ハ琉
球の山ヨテノコギリ山の形あるべー馬齒封と
ハアリの事をいひて喰違ひて列せるをいふこ

第八カマイタチ并カクレ座頭

續伽婢子十一の巻十三ま關八州の間まのまい
さちとてあやーき事侍りつしのぜおこりて道
行人の身ま物あらくあられバ股のあとりたて
ざまざまさけてかゝりふて物さるぐく口ひら
け左のもいゝゝをなハぐしくも又血ハ少も出
ず女蕤草をもゝてつけぬもバ一夜のうちふる
ほると云ふまものいさゞともおぼえて此うを
旋風のあらく吹てあふるとお

有それも正一き侍まいあらばたゞ俗姓いやし
きものいたとへあるも是まあてらるといへり尾濃駿遠參州の間は提馬風とてこも有馬をたふびつゞ風と云々これから國の風鬼と池北偶談廿二の巻洞渓物産の条も風鬼出黔中無形無影能以旋風攝人云々とある風鬼ハカマイタチの漢名にまよ下総の國も穴中の怪なカクレ座頭といふ同書同条も夜又産蜀之黎州穴生長七尺亦名玃路見婦人盗嬰之入穴生子以揚爲姓云々此類といふべし

第九鎗棒長刀考

劒刀片刃諸刃の刀劒の總名にて其鋭く斬る白まよりて都留伎といふ類例おほし彼斬上巻の都牟刈之太刀も都牟刈の剣にて都牟ハ須留の通音古傳記ハ須と都と通ふ斬に都と流岐能多知といふ心にて都と須と通ふ古事記中巻倭建命の御哥に刈を濁て讀て今俗はゞいふ義と一リトキル物を断切まよりて多知といへり倭名抄征戦具部に四聲字苑云似劒而一刃曰刀太刀和名太知小刀加太奈云々まよ四聲字苑云似刀而両刃曰劒今按僧家所持是也云々まよ廣雅云屬鏤劒也

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

文選讀豆流岐云々などみえたるを冠辞考六の巻古事記傳九の巻に古ハ諸刃のミにて片刃ハあらずよりいへるハ萬葉集十一の巻に劍刀諸刃利足跡云々などいへるを去觸而云々劍刀諸刃利足跡云々などいへるに据て惑へる加多奈といふ語も片刃の通音とたばかるに近世古墳より出し古劍おほく片刃あれど上代より片刃の製なりしを疑ひ漢土にも短刀長刀腰刀あると皆片刃なりしを武備志百三の巻百四の巻を閲て知るべしさて劍の柄ありて長きを矛といひ刀の柄ありて長きを長刀といふ矛ハ秀木にて執持て立る貌乃高く秀たるゆゑの名ニ柄ハ木を用れど秀木といふべしこれ金槍年中行事秘抄下巻十一月鎮魂歌ナボコ新撰字鏡金部に鉾ニ加太保己乃佐支なゝミ保己鉾ハ同キ兵庫式に鉾ノ金戟料の鐵久延毘古となり木槍年中行事秘抄下巻十一月鎮魂歌ナボコと鏡集木部に槍ハ鉾ニ矛ニ同ンホコキ義解に槍者木ノ兩頭ニ鋭者とゝ字ゝ木ノ製の物なるをハ用ひ鉾ハ矛ニ同ンホコキ共ニ儀仗軍器ニ用ひ鉾ハ劍の屬を著或花なども著たるゝなりゝニ兵庫式ニ花槍見ゆ鉾ハ後ニ棒とよぶ比比羅木八尋矛旧事紀景行段ニ古事記景行段ニ類く杜谷樹八尋桙根文武大寶ニゝなりをだこ

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

ルル鋒（ホコサキ）ありけるホや倭名抄、刑罰具、部ヨ蒋勳切韻云棒（ボウ）音蚌杖（ボウヅエ）名ノ字亦作（レ）梻俗音方とあるこルノ丁棒、梻、梧、通用の字ヨテ。俗字ニセ。一切経音義、十四の巻二右ヨ。棒、白項ノ反。俗字ニセ。字書、打（ウツ）也。正ハ或ハ作（レ）梧ニ。考ノ聲大杖（ツエ）也。説文、擊（ウツ）也。従（レ）木、棒ノ字正ハ宜（ロシク）レ作（レ）梧、或ハ亦爲（レ）梻。今経本作（レ）棒ニ。同世三の巻二丁右ヨ。棒ノ字乃チ是レ棒杖ノ之棒ニ非ズ打（ウツ）梧ノ字ニ。然ニ復有リ従（レ）手邊ニ作（レ）捧者ハ乃チ是レ棒持ノ之字ニ転ジテ遠ニ經意ニ也。廣雅ニ曰ク梧、筆ニ也。又有リ木邊ニ作（レ）棒者ハ是レ梧杖ノ之梧ノ字體ニ也。同世八の巻十丁左ヨ梧、龐講ノ反。説文ニ云ク大梧、大杖ニ也。従（レ）木、捧ノ聲ノ字ニ。徑ニ作（レ）棒ニ。俗字ニ梧ニ。同世十五、十七丁左ヨ梧、棁ニ也。七字従（レ）木、棁ハ従（レ）手ニ作（レ）梧ニ。同電講ノ反。説文ニ棁ニ也。木ノ名ニ。又抄ニ都ヨ恵ハ俗語ノ語ヨリ名ヲ取ルノミ。

看督長（カトノサヲサ）の執持（トリモテ）る白杖（シラヅエ）

一巻ノ賀茂神人（シニン）白杖（シラヅエ）ヲ持テ彼聖（ヒジリ）ガウナジヲシテとル見ユ。ハ漢籍ヨ白梃（シラヅエ）字漢書、侯王、表。品第、景声、景帝紀、注、賈誼ノ新書、一過秦論下ニ。おゐド平家物語六、景帝紀、注、賈誼ノ新書、一過秦論下ニ。

金棒（カナバウ）

参考太平記、八同十四同十七同廿二同廿三の巻ニ金棒ヲ持ル。

木棒（キバウ）

義経記、三ノ八段ノ河夜討ノ草子ヨ白柘植（ツゲ）ノ棒ヲ持ル。同四ノ巻ニ参考太平記、十七同廿九ヨ木棒ヲ持ル。

重棒（ヂウバウ）

編應仁記、三ノ巻ニ参考太平記、廿六明徳記、中ノ巻ニ見ユ。

塵塗嚢抄（ヂントナウセウ）

三の巻ニ訓ノ如ク材棒（ザイバウ）ノ材ヨリ出ルこトバニテ、材木ノ材ヨ。

木棒の長（ナガ）きを材棒（ザイバウ）と

いふ。

そを金材棒といへるこ

材木ノ材ヨハ鉄（クロガネ）ヨリ出タルヲ金材棒ト書テ、サイボウと訓ノ如ク材棒ノ材ヨハ

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

いふ如くにて裂（ナイ）棒（バウ）の義なるべし眞木裂擅（さけるまゆみ）のはまでありて棒（ボウ）も造（ツク）へるなり後名扶工匠具部に篆文云云方雅直追反字亦作槌謂於楔終葵二音漢語抄に云散伊都遷（ウツ）とあるも裂（サキ）槌（ツチ）の義にて物打裂（ウチサク）なり用ゐる所の名なり金材の六波羅蜜多經の三卷琅邪代醉編廿二佛の名なり漢土（カラクニ）も馬縞の中華古今注上卷も車轄棒也漢朝執金吾金五亦棒也以銅爲之黃金塗雨未謂爲金吾御史大夫司隷校尉亦得執馬縣長之類皆以木爲五馬用以夾車故謂之車轄也琅邪代醉編八の卷金の条一曰形似轄故謂之車轄也棒者崔正融注車轄也漢朝執金吾金吾亦棒也以銅爲之黃金塗兩足御史大夫司隷校尉亦得執馬形似轄故曰車軸曹操爲洛陽北部尉乃懸五色棒于門以威豪猾（馬縞中華古今注）魏志武帝記裴松之注曹瞞傳曰太祖初入尉（ニ）繕（ヒ）治（ヲ）門（ノ）左右（ニ）各十餘枚有（レバ）犯（スレ）禁者不（メ）避（ケ）豪彊（ノ）皆棒（ニ）殺之（ヲ）魏書七十四の卷仝朱榮傳も又以人馬逼戰刀不（ズ）如（カ）棒（ニ）密勒軍士（ヲ）馬上各（ニ）齎（タヅサヘシメ）神棒一枚（ヲ）置（ク）於馬側（ニ）至（テ）於戰時（ニ）不聽（エサ）斬（キルヲ）級（ニ）以棒（ヲ）棒（ウツ）之（ヲ）而已慮廢騰逐也（北史四十八の卷仝朱榮傳もが神棒を袖棒に作り文も異同あり可考合）仲遵泉公の子こ一名恭云々及長有（リ）武藝高教曹攻（ニ）洛

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

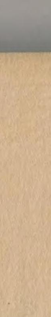
州與仝力戰拒守矢盡以棒杖扞之爲流矢中目不堪復戰ふどこせのれ所見おぼし棒の短きをむちぎり木といふ平家物語十一同長門本十八盛衰記三義經記二日蓮錄内書七報恩抄下明德記十中室町殿日記十七そは長きを引手切て短くせしおし乃名よや又ハ手握ともいへり手握乃義ときこゑ契約をチギリといふ俊名抄織縢ハ知岐利と見り織機具部に見り縢ハ知岐利と訓孝德紀ま金巾をチキリと訓ガ子ノチキリ俊名抄冠帽類部に幗和名抄知岐利加字和利とあり幗ハ手握乃義とあどの輪鼓形の物ま神代紀上卷に陰神握陽神之手爲夫婦とあるにも起れる詞といへり齊明紀ま以捂戰とみえし捂

ル握小直木にて加と古ハ通音之小物ま古といへる例ハ小瓶小馬小芝小菅小草小芥小弓小嶋小身狹小坂小宅小松あどおほのりナギハ直木之ナギ神名式上に大和國宇陀郡都賀那木神社ありこれし楛まよれる社名にや孝德紀御歌に舸娜紀都該阿我柯賦古麻小直木を馬の足ま結付てふーたるかりハ天津金木天津神の事ちれバ冠文大祓に天津金木ら天津ハ天津金木ハ小直木ぼれバ冠纓也和名加奈岐選東方朔が答客難乃古訓ま筵カナギ注に小枝也倭名抄刑罰具部ま鉗以鉄束頸也和名加奈岐まゝ鉄脰皆也和名同上此ハ金にて古くハ木製たるにハ木製の物ありへど

るべ　犯どゐる加奈木ハ皆小直木ノてちぎり木
より小し長きをいふべし同部ノ笘和名之毛
度若木楠あどの字孤シモトと訓小若き小木の義
也　杖和名都恵とゐるも同屬ニ今世ヂツテイと
いふとのハ笘梃の字音ヨやもと馬鞭と同物ヨ
て倭名抄鞍馬具部ヨ野王按鞭音知俗云布知無名和
也箠音冊字亦作策馬楎也楎音所以箠馬驅遲也と見ゆ
策左傳文公十三年同襄公十七年呂氏春秋審爲篇箠
編廿一敲漢書項籍傳文選司馬遷報任安書唐韻慧琳音義廿三楎説文五音集韻韻會三馬捶傳左
裏公十七年注馬箠史記陳餘傳同劉敬傳唐書封常篇小箠本説苑建大箠上同
鞭箠文選司馬遷報任安書韓非子外儲説右下傳唐書竇軌傳元史徐世隆傳折箠後漢
書鄧禹傳楎捶晉書慕容皝載記擊捶文選賈誼過秦論注馬楎十左傳文公十三年注
漢書吾丘壽王傳注後漢書王常傳注手楎元祖紀
杖漢書匈奴傳注鞭杖蜀志先主傳注吳志黃蓋傳北史魏世宗紀馬策吳志孫策傳晉
書謝安傳あどミなゐの類ヨり鉄製ませしは和爾雅
五の巻ヨ。鉄鞭カナムチと。見え。字面は宋史呼延贊ガ
傳ヨ出ヾり鉄馬鞭晉書王澄ガ傳鉄楎五代史義兒荐考ガ
史葉元福ガ傳續資治通鑑宋太祖隆元年六月注馬錘淮南子道應訓注鉄尺元史世
紀あどル同物ゐるべし後漢書劉寛傳ヨ。史人有ハ

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

過但用蒲鞭罰之とあるは善政の設まて倭漢朗詠帝王江相公の刑鞭蒲朽螢空去と作りしも出処し。さもば金水梧ちぎり笞梃あと長短。竹木。鉄製のけじ矛槍矟戟鉾乃字いぜれも通ひて保古とよみ瓊矛古事記日本紀旧事紀神皇正統記著鐸之矛旧事紀古茅纏矟



日光大師画詞傳所載笠圖同書所載チギリ木圖

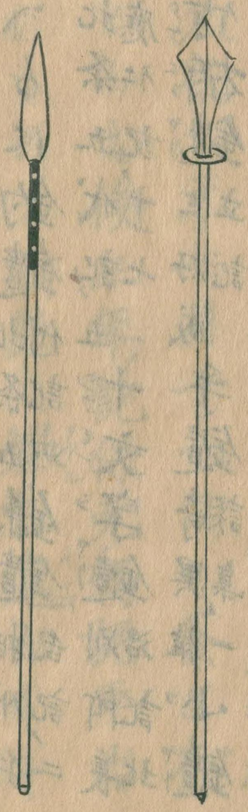
日本紀釋平文鉾左經金銅鉾百抄日本紀釋同上廣矛日本紀釋日本紀旧事紀長矛日本紀釋令義手鉾参考保元物語盛衰記義經記庭訓往来抄石集雜々拾遺赤矛日本紀釋兩頭矛日本紀釋令解三代實録鯰尾槍同上あごの名目なり不空羂索經四の巻なる花を首なせし槍とあるハ花を索陀尼自在呪經中巻なる畫槍とそいふべし不空羂索經見ゆ劔頭の鉾の圖年中行事画巻に見ゆ枝ある物ハ後の十文字鑓の祖といふべし本朝軍器考圖説巻上に山城國静原二宮社藏天武皇御寶物圖御鉾乃圖を載たるにいぜ藏聖武天皇御鉾南都正倉院乃圖を載たるにいぜ且つ今の鑓乃製ハ隣ノ御即位調度圖礼儀類曲

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用

画圖巻にも手鉾三俣鉾振鉾太平樂桙秦王桙乃
圖なり鎗乃名は吾妻鏡三の巻に長鎗刀例本にカボコと
訓さゝれど尺素往來に遣刀應仁別記は長鎗歟下
ざあるを合せ考るはナガヤリと訓べきなり
學集器財門に鑓和字欤云々桂川地藏記上の巻は長鉾
者朱鐏黒塗銀裝束實天九郎也云々歟ど見え後
三年画巻宗俊画巻かどふ其の圖ぬきば堀川院
の比槍の製変て今の鑓の貌とおりやりとい
へる名は鎌倉將軍の代よりおこるなるべし
日夏繁高が武林原始一の巻に或記曰右大將嘗製
長槍授島津忠久俗号十文字といへるは舊き家

牒などに据る説はやゝのりけん雑々拾遺六の巻
は和田賢秀暦應年中手鉾より工夫して鑓をは
くるといひ倭事始三の巻に楠正成作りといふ
は共ようけがさー鑓の字は遣付る兵仗かもむ
さる心ゐて製りと見ゆ三才圖會人事は鑓ぜ
の条ありてその圖を載さるも本朝の製は似ざ
り

後三年画巻所載鎗圖



宗俊画巻所載鎗圖

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

さて其製作をいへるに鈎鑓北条五代記、永禄四北条五代記、天正記、四光源院殿記重編應仁記、十七条五代記、四室町殿日記、一同五十文字鑓別所長治記、三好成手鑓奇異雑談集、一小鑓大内二門一尺鑓北条五代記、四三門鑓同上二尺余、鑓殿中日記、三是いへるの丈一丈許鑓太平記、三兵器部桜鎗同上素鎗同上大身鎗同上雨鎌鎗同上片鎌鎗同上其具をいへるに鑓の鐏参考太平記、廿五大内義隆記、廿同廿九同廿六同廿七同廿八細川両家記、下同廿四同廿五同廿六同廿七同廿八同廿九同三十同卅一同卅二同卅三同卅四同卅五同卅六同卅七同卅八同卅九同四十同四一同四二同四三同四四同四五同四六同四七同四八同四九同五十同五一同五二同五三同五四同五五同五六同五七同五八同五九同六十同六一同六二同六三同六四同六五同六六同六七同六八同六九同七十同七一同七二同七三同七四同七五同七六同七七同七八同七九同八十同八一同八二同八三同八四同八五同八六同八七同八八同八九同九十同九一同九二同九三同九四同九五同九六同九七同九八同九九同百同百一同百二同百三同百四同百五同百六同百七同百八同百九同百十同百一一同百一二同百一三同百一四同百一五同百一六同百一七同百一八同百一九同百二十同百二一同百二二同百二三同百二四同百二五同百二六同百二七同百二八同百二九同百三十同百三一同百三二同百三三同百三四同百三五同百三六同百三七同百三八同百三九同百四十同百四一同百四二同百四三同百四四同百四五同百四六同百四七同百四八同百四九同百五十同百五一同百五二同百五三同百五四同百五五同百五六同百五七同百五八同百五九同百六十同百六一同百六二同百六三同百六四同百六五同百六六同百六七同百六八同百六九同百七十同百七一同百七二同百七三同百七四同百七五同百七六同百七七同百七八同百七九同百八十同百八一同百八二同百八三同百八四同百八五同百八六同百八七同百八八同百八九同百九十同百九一同百九二同百九三同百九四同百九五同百九六同百九七同百九八同百九九同二百同二百一同二百二同二百三同二百四同二百五同二百六同二百七同二百八同二百九同二百十同二百一一同二百一二同二百一三同二百一四同二百一五同二百一六同二百一七同二百一八同二百一九同二百二十同二百二一同二百二二同二百二三同二百二四同二百二五同二百二六同二百二七同二百二八同二百二九同二百三十同二百三一同二百三二同二百三三同二百三四同二百三五同二百三六同二百三七同二百三八同二百三九同二百四十同二百四一同二百四二同二百四三同二百四四同二百四五同二百四六同二百四七同二百四八同二百四九同二百五十同二百五一同二百五二同二百五三同二百五四同二百五五同二百五六同二百五七同二百五八同二百五九同二百六十同二百六一同二百六二同二百六三同二百六四同二百六五同二百六六同二百六七同二百六八同二百六九同二百七十同二百七一同二百七二同二百七三同二百七四同二百七五同二百七六同二百七七同二百七八同二百七九同二百八十同二百八一同二百八二同二百八三同二百八四同二百八五同二百八六同二百八七同二百八八同二百八九同二百九十同二百九一同二百九二同二百九三同二百九四同二百九五同二百九六同二百九七同二百九八同二百九九同三百同三百一同三百二同三百三同三百四同三百五同三百六同三百七同三百八同三百九同三百十同三百一一同三百一二同三百一三同三百一四同三百一五同三百一六同三百一七同三百一八同三百一九同三百二十同三百二一同三百二二同三百二三同三百二四同三百二五同三百二六同三百二七同三百二八同三百二九同三百三十同三百三一同三百三二同三百三三同三百三四同三百三五同三百三六同三百三七同三百三八同三百三九同三百四十同三百四一同三百四二同三百四三同三百四四同三百四五同三百四六同三百四七同三百四八同三百四九同三百五十同三百五一同三百五二同三百五三同三百五四同三百五五同三百五六同三百五七同三百五八同三百五九同三百六十同三百六一同三百六二同三百六三同三百六四同三百六五同三百六六同三百六七同三百六八同三百六九同三百七十同三百七一同三百七二同三百七三同三百七四同三百七五同三百七六同三百七七同三百七八同三百七九同三百八十同三百八一同三百八二同三百八三同三百八四同三百八五同三百八六同三百八七同三百八八同三百八九同三百九十同三百九一同三百九二同三百九三同三百九四同三百九五同三百九六同三百九七同三百九八同三百九九同四百同四百一同四百二同四百三同四百四同四百五同四百六同四百七同四百八同四百九同四百十同四百一一同四百一二同四百一三同四百一四同四百一五同四百一六同四百一七同四百一八同四百一九同四百二十同四百二一同四百二二同四百二三同四百二四同四百二五同四百二六同四百二七同四百二八同四百二九同四百三十同四百三一同四百三二同四百三三同四百三四同四百三五同四百三六同四百三七同四百三八同四百三九同四百四十同四百四一同四百四二同四百四三同四百四四同四百四五同四百四六同四百四七同四百四八同四百四九同四百五十同四百五一同四百五二同四百五三同四百五四同四百五五同四百五六同四百五七同四百五八同四百五九同四百六十同四百六一同四百六二同四百六三同四百六四同四百六五同四百六六同四百六七同四百六八同四百六九同四百七十同四百七一同四百七二同四百七三同四百七四同四百七五同四百七六同四百七七同四百七八同四百七九同四百八十同四百八一同四百八二同四百八三同四百八四同四百八五同四百八六同四百八七同四百八八同四百八九同四百九十同四百九一同四百九二同四百九三同四百九四同四百九五同四百九六同四百九七同四百九八同四百九九同五百同五百一同五百二同五百三同五百四同五百五同五百六同五百七同五百八同五百九同五百十同五百一一同五百一二同五百一三同五百一四同五百一五同五百一六同五百一七同五百一八同五百一九同五百二十同五百二一同五百二二同五百二三同五百二四同五百二五同五百二六同五百二七同五百二八同五百二九同五百三十同五百三一同五百三二同五百三三同五百三四同五百三五同五百三六同五百三七同五百三八同五百三九同五百四十同五百四一同五百四二同五百四三同五百四四同五百四五同五百四六同五百四七同五百四八同五百四九同五百五十同五百五一同五百五二同五百五三同五百五四同五百五五同五百五六同五百五七同五百五八同五百五九同五百六十同五百六一同五百六二同五百六三同五百六四同五百六五同五百六六同五百六七同五百六八同五百六九同五百七十同五百七一同五百七二同五百七三同五百七四同五百七五同五百七六同五百七七同五百七八同五百七九同五百八十同五百八一同五百八二同五百八三同五百八四同五百八五同五百八六同五百八七同五百八八同五百八九同五百九十同五百九一同五百九二同五百九三同五百九四同五百九五同五百九六同五百九七同五百九八同五百九九同六百同六百一同六百二同六百三同六百四同六百五同六百六同六百七同六百八同六百九同六百十同六百一一同六百一二同六百一三同六百一四同六百一五同六百一六同六百一七同六百一八同六百一九同六百二十同六百二一同六百二二同六百二三同六百二四同六百二五同六百二六同六百二七同六百二八同六百二九同六百三十同六百三一同六百三二同六百三三同六百三四同六百三五同六百三六同六百三七同六百三八同六百三九同六百四十同六百四一同六百四二同六百四三同六百四四同六百四五同六百四六同六百四七同六百四八同六百四九同六百五十同六百五一同六百五二同六百五三同六百五四同六百五五同六百五六同六百五七同六百五八同六百五九同六百六十同六百六一同六百六二同六百六三同六百六四同六百六五同六百六六同六百六七同六百六八同六百六九同六百七十同六百七一同六百七二同六百七三同六百七四同六百七五同六百七六同六百七七同六百七八同六百七九同六百八十同六百八一同六百八二同六百八三同六百八四同六百八五同六百八六同六百八七同六百八八同六百八九同六百九十同六百九一同六百九二同六百九三同六百九四同六百九五同六百九六同六百九七同六百九八同六百九九同七百同七百一同七百二同七百三同七百四同七百五同七百六同七百七同七百八同七百九同七百十同七百一一同七百一二同七百一三同七百一四同七百一五同七百一六同七百一七同七百一八同七百一九同七百二十同七百二一同七百二二同七百二三同七百二四同七百二五同七百二六同七百二七同七百二八同七百二九同七百三十同七百三一同七百三二同七百三三同七百三四同七百三五同七百三六同七百三七同七百三八同七百三九同七百四十同七百四一同七百四二同七百四三同七百四四同七百四五同七百四六同七百四七同七百四八同七百四九同七百五十同七百五一同七百五二同七百五三同七百五四同七百五五同七百五六同七百五七同七百五八同七百五九同七百六十同七百六一同七百六二同七百六三同七百六四同七百六五同七百六六同七百六七同七百六八同七百六九同七百七十同七百七一同七百七二同七百七三同七百七四同七百七五同七百七六同七百七七同七百七八同七百七九同七百八十同七百八一同七百八二同七百八三同七百八四同七百八五同七百八六同七百八七同七百八八同七百八九同七百九十同七百九一同七百九二同七百九三同七百九四同七百九五同七百九六同七百九七同七百九八同七百九九同八百同八百一同八百二同八百三同八百四同八百五同八百六同八百七同八百八同八百九同八百十同八百一一同八百一二同八百一三同八百一四同八百一五同八百一六同八百一七同八百一八同八百一九同八百二十同八百二一同八百二二同八百二三同八百二四同八百二五同八百二六同八百二七同八百二八同八百二九同八百三十同八百三一同八百三二同八百三三同八百三四同八百三五同八百三六同八百三七同八百三八同八百三九同八百四十同八百四一同八百四二同八百四三同八百四四同八百四五同八百四六同八百四七同八百四八同八百四九同八百五十同八百五一同八百五二同八百五三同八百五四同八百五五同八百五六同八百五七同八百五八同八百五九同八百六十同八百六一同八百六二同八百六三同八百六四同八百六五同八百六六同八百六七同八百六八同八百六九同八百七十同八百七一同八百七二同八百七三同八百七四同八百七五同八百七六同八百七七同八百七八同八百七九同八百八十同八百八一同八百八二同八百八三同八百八四同八百八五同八百八六同八百八七同八百八八同八百八九同八百九十同八百九一同八百九二同八百九三同八百九四同八百九五同八百九六同八百九七同八百九八同八百九九同九百同九百一同九百二同九百三同九百四同九百五同九百六同九百七同九百八同九百九同九百十同九百一一同九百一二同九百一三同九百一四同九百一五同九百一六同九百一七同九百一八同九百一九同九百二十同九百二一同九百二二同九百二三同九百二四同九百二五同九百二六同九百二七同九百二八同九百二九同九百三十同九百三一同九百三二同九百三三同九百三四同九百三五同九百三六同九百三七同九百三八同九百三九同九百四十同九百四一同九百四二同九百四三同九百四四同九百四五同九百四六同九百四七同九百四八同九百四九同九百五十同九百五一同九百五二同九百五三同九百五四同九百五五同九百五六同九百五七同九百五八同九百五九同九百六十同九百六一同九百六二同九百六三同九百六四同九百六五同九百六六同九百六七同九百六八同九百六九同九百七十同九百七一同九百七二同九百七三同九百七四同九百七五同九百七六同九百七七同九百七八同九百七九同九百八十同九百八一同九百八二同九百八三同九百八四同九百八五同九百八六同九百八七同九百八八同九百八九同九百九十同九百九一同九百九二同九百九三同九百九四同九百九五同九百九六同九百九七同九百九八同九百九九同千同千一同千二同千三同千四同千五同千六同千七同千八同千九同千十同千一一同千一二同千一三同千一四同千一五同千一六同千一七同千一八同千一九同千二十同千二一同千二二同千二三同千二四同千二五同千二六同千二七同千二八同千二九同千三十同千三一同千三二同千三三同千三四同千三五同千三六同千三七同千三八同千三九同千四十同千四一同千四二同千四三同千四四同千四五同千四六同千四七同千四八同千四九同千五十同千五一同千五二同千五三同千五四同千五五同千五六同千五七同千五八同千五九同千六十同千六一同千六二同千六三同千六四同千六五同千六六同千六七同千六八同千六九同千七十同千七一同千七二同千七三同千七四同千七五同千七六同千七七同千七八同千七九同千八十同千八一同千八二同千八三同千八四同千八五同千八六同千八七同千八八同千八九同千九十同千九一同千九二同千九三同千九四同千九五同千九六同千九七同千九八同千九九同二千同二千一同二千二同二千三同二千四同二千五同二千六同二千七同二千八同二千九同二千十同二千一一同二千一二同二千一三同二千一四同二千一五同二千一六同二千一七同二千一八同二千一九同二千二十同二千二一同二千二二同二千二三同二千二四同二千二五同二千二六同二千二七同二千二八同二千二九同二千三十同二千三一同二千三二同二千三三同二千三四同二千三五同二千三六同二千三七同二千三八同二千三九同二千四十同二千四一同二千四二同二千四三同二千四四同二千四五同二千四六同二千四七同二千四八同二千四九同二千五十同二千五一同二千五二同二千五三同二千五四同二千五五同二千五六同二千五七同二千五八同二千五九同二千六十同二千六一同二千六二同二千六三同二千六四同二千六五同二千六六同二千六七同二千六八同二千六九同二千七十同二千七一同二千七二同二千七三同二千七四同二千七五同二千七六同二千七七同二千七八同二千七九同二千八十同二千八一同二千八二同二千八三同二千八四同二千八五同二千八六同二千八七同二千八八同二千八九同二千九十同二千九一同二千九二同二千九三同二千九四同二千九五同二千九六同二千九七同二千九八同二千九九同三千同三千一同三千二同三千三同三千四同三千五同三千六同三千七同三千八同三千九同三千十同三千一一同三千一二同三千一三同三千一四同三千一五同三千一六同三千一七同三千一八同三千一九同三千二十同三千二一同三千二二同三千二三同三千二四同三千二五同三千二六同三千二七同三千二八同三千二九同三千三十同三千三一同三千三二同三千三三同三千三四同三千三五同三千三六同三千三七同三千三八同三千三九同三千四十同三千四一同三千四二同三千四三同三千四四同三千四五同三千四六同三千四七同三千四八同三千四九同三千五十同三千五一同三千五二同三千五三同三千五四同三千五五同三千五六同三千五七同三千五八同三千五九同三千六十同三千六一同三千六二同三千六三同三千六四同三千六五同三千六六同三千六七同三千六八同三千六九同三千七十同三千七一同三千七二同三千七三同三千七四同三千七五同三千七六同三千七七同三千七八同三千七九同三千八十同三千八一同三千八二同三千八三同三千八四同三千八五同三千八六同三千八七同三千八八同三千八九同三千九十同三千九一同三千九二同三千九三同三千九四同三千九五同三千九六同三千九七同三千九八同三千九九同四千同四千一同四千二同四千三同四千四同四千五同四千六同四千七同四千八同四千九同四千十同四千一一同四千一二同四千一三同四千一四同四千一五同四千一六同四千一七同四千一八同四千一九同四千二十同四千二一同四千二二同四千二三同四千二四同四千二五同四千二六同四千二七同四千二八同四千二九同四千三十同四千三一同四千三二同四千三三同四千三四同四千三五同四千三六同四千三七同四千三八同四千三九同四千四十同四千四一同四千四二同四千四三同四千四四同四千四五同四千四六同四千四七同四千四八同四千四九同四千五十同四千五一同四千五二同四千五三同四千五四同四千五五同四千五六同四千五七同四千五八同四千五九同四千六十同四千六一同四千六二同四千六三同四千六四同四千六五同四千六六同四千六七同四千六八同四千六九同四千七十同四千七一同四千七二同四千七三同四千七四同四千七五同四千七六同四千七七同四千七八同四千七九同四千八十同四千八一同四千八二同四千八三同四千八四同四千八五同四千八六同四千八七同四千八八同四千八九同四千九十同四千九一同四千九二同四千九三同四千九四同四千九五同四千九六同四千九七同四千九八同四千九九同五千同五千一同五千二同五千三同五千四同五千五同五千六同五千七同五千八同五千九同五千十同五千一一同五千一二同五千一三同五千一四同五千一五同五千一六同五千一七同五千一八同五千一九同五千二十同五千二一同五千二二同五千二三同五千二四同五千二五同五千二六同五千二七同五千二八同五千二九同五千三十同五千三一同五千三二同五千三三同五千三四同五千三五同五千三六同五千三七同五千三八同五千三九同五千四十同五千四一同五千四二同五千四三同五千四四同五千四五同五千四六同五千四七同五千四八同五千四九同五千五十同五千五一同五千五二同五千五三同五千五四同五千五五同五千五六同五千五七同五千五八同五千五九同五千六十同五千六一同五千六二同五千六三同五千六四同五千六五同五千六六同五千六七同五千六八同五千六九同五千七十同五千七一同五千七二同五千七三同五千七四同五千七五同五千七六同五千七七同五千七八同五千七九同五千八十同五千八一同五千八二同五千八三同五千八四同五千八五同五千八六同五千八七同五千八八同五千八九同五千九十同五千九一同五千九二同五千九三同五千九四同五千九五同五千九六同五千九七同五千九八同五千九九同六千同六千一同六千二同六千三同六千四同六千五同六千六同六千七同六千八同六千九同六千十同六千一一同六千一二同六千一三同六千一四同六千一五同六千一六同六千一七同六千一八同六千一九同六千二十同六千二一同六千二二同六千二三同六千二四同六千二五同六千二六同六千二七同六千二八同六千二九同六千三十同六千三一同六千三二同六千三三同六千三四同六千三五同六千三六同六千三七同六千三八同六千三九同六千四十同六千四一同六千四二同六千四三同六千四四同六千四五同六千四六同六千四七同六千四八同六千四九同六千五十同六千五一同六千五二同六千五三同六千五四同六千五五同六千五六同六千五七同六千五八同六千五九同六千六十同六千六一同六千六二同六千六三同六千六四同六千六五同六千六六同六千六七同六千六八同六千六九同六千七十同六千七一同六千七二同六千七三同六千七四同六千七五同六千七六同六千七七同六千七八同六千七九同六千八十同六千八一同六千八二同六千八三同六千八四同六千八五同六千八六同六千八七同六千八八同六千八九同六千九十同六千九一同六千九二同六千九三同六千九四同六千九五同六千九六同六千九七同六千九八同六千九九同七千同七千一同七千二同七千三同七千四同七千五同七千六同七千七同七千八同七千九同七千十同七千一一同七千一二同七千一三同七千一四同七千一五同七千一六同七千一七同七千一八同七千一九同七千二十同七千二一同七千二二同七千二三同七千二四同七千二五同七千二六同七千二七同七千二八同七千二九同七千三十同七千三一同七千三二同七千三三同七千三四同七千三五同七千三六同七千三七同七千三八同七千三九同七千四十同七千四一同七千四二同七千四三同七千四四同七千四五同七千四六同七千四七同七千四八同七千四九同七千五十同七千五一同七千五二同七千五三同七千五四同七千五五同七千五六同七千五七同七千五八同七千五九同七千六十同七千六一同七千六二同七千六三同七千六四同七千六五同七千六六同七千六七同七千六八同七千六九同七千七十同七千七一同七千七二同七千七三同七千七四同七千七五同七千七六同七千七七同七千七八同七千七九同七千八十同七千八一同七千八二同七千八三同七千八四同七千八五同七千八六同七千八七同七千八八同七千八九同七千九十同七千九一同七千九二同七千九三同七千九四同七千九五同七千九六同七千九七同七千九八同七千九九同八千同八千一同八千二同八千三同八千四同八千五同八千六同八千七同八千八同八千九同八千十同八千一一同八千一二同八千一三同八千一四同八千一五同八千一六同八千一七同八千一八同八千一九同八千二十同八千二一同八千二二同八千二三同八千二四同八千二五同八千二六同八千二七同八千二八同八千二九同八千三十同八千三一同八千三二同八千三三同八千三四同八千三五同八千三六同八千三七同八千三八同八千三九同八千四十同八千四一同八千四二同八千四三同八千四四同八千四五同八千四六同八千四七同八千四八同八千四九同八千五十同八千五一同八千五二同八千五三同八千五四同八千五五同八千五六同八千五七同八千五八同八千五九同八千六十同八千六一同八千六二同八千六三同八千六四同八千六五同八千六六同八千六七同八千六八同八千六九同八千七十同八千七一同八千七二同八千七三同八千七四同八千七五同八千七六同八千七七同八千七八同八千七九同八千八十同八千八一同八千八二同八千八三同八千八四同八千八五同八千八六同八千八七同八千八八同八千八九同八千九十同八千九一同八千九二同八千九三同八千九四同八千九五同八千九六同八千九七同八千九八同八千九九同九千同九千一同九千二同九千三同九千四同九千五同九千六同九千七同九千八同九千九同九千十同九千一一同九千一二同九千一三同九千一四同九千一五同九千一六同九千一七同九千一八同九千一九同九千二十同九千二一同九千二二同九千二三同九千二四同九千二五同九千二六同九千二七同九千二八同九千二九同九千三十同九千三一同九千三二同九千三三同九千三四同九千三五同九千三六同九千三七同九千三八同九千三九同九千四十同九千四一同九千四二同九千四三同九千四四同九千四五同九千四六同九千四七同九千四八同九千四九同九千五十同九千五一同九千五二同九千五三同九千五四同九千五五同九千五六同九千五七同九千五八同九千五九同九千六十同九千六一同九千六二同九千六三同九千六四同九千六五同九千六六同九千六七同九千六八同九千六九同九千七十同九千七一同九千七二同九千七三同九千七四同九千七五同九千七六同九千七七同九千七八同九千七九同九千八十同九千八一同九千八二同九千八三同九千八四同九千八五同九千八六同九千八七同九千八八同九千八九同九千九十同九千九一同九千九二同九千九三同九千九四同九千九五同九千九六同九千九七同九千九八同九千九九同一万同一万一同一万二同一万三同一万四同一万五同一万六同一万七同一万八同一万九同一万十同一万一一同一万一二同一万一三同一万一四同一万一五同一万一六同一万一七同一万一八同一万一九同一万二十同一万二一同一万二二同一万二三同一万二四同一万二五同一万二六同一万二七同一万二八同一万二九同一万三十同一万三一同一万三二同一万三三同一万三四同一万三五同一万三六同一万三七同一万三八同一万三九同一万四十同一万四一同一万四二同一万四三同一万四四同一万四五同一万四六同一万四七同一万四八同一万四九同一万五十同一万五一同一万五二同一万五三同一万五四同一万五五同一万五六同一万五七同一万五八同一万五九同一万六十同一万六一同一万六二同一万六三同一万六四同一万六五同一万六六同一万六七同一万六八同一万六九同一万七十同一万七一同一万七二同一万七三同一万七四同一万七五同一万七六同一万七七同一万七八同一万七九同一万八十同一万八一同一万八二同一万八三同一万八四同一万八五同一万八六同一万八七同一万八八同一万八九同一万九十同一万九一同一万九二同一万九三同一万九四同一万九五同一万九六同一万九七同一万九八同一万九九同二万同二万一同二万二同二万三同二万四同二万五同二万六同二万七同二万八同二万九同二万十同二万一一同二万一二同二万一三同二万一四同二万一五同二万一六同二万一七同二万一八同二万一九同二万二十同二万二一同二万二二同二万二三同二万二四同二万二五同二万二六同二万二七同二万二八同二万二九同二万三十同二万三一同二万三二同二万三三同二万三四同二万三五同二万三六同二万三七同二万三八同二万三九同二万四十同二万四一同二万四二同二万四三同二万四四同二万四五同二万四六同二万四七同二万四八同二万四九同二万五十同二万五一同二万五二同二万五三同二万五四同二万五五同二万五六同二万五七同二万五八同二万五九同二万六十同二万六一同二万六二同二万六三同二万六四同二万六五同二万六六同二万六七同二万六八同二万六九同二万七十同二万七一同二万七二同二万七三同二万七四同二万七五同二万七六同二万七七同二万七八同二万七九同二万八十同二万八一同二万八二同二万八三同二万八四同二万八五同二万八六同二万八七同二万八八同二万八九同二万九十同二万九一同二万九二同二万九三同二万九四同二万九五同二万九六同二万九七同二万九八同二万九九同三万同三万一同三万二同三万三同三万四同三万五同三万六同三万七同三万八同三万九同三万十同三万一一同三万一二同三万一三同三万一四同三万一五同三万一六同三万一七同三万一八同三万一九同三万二十同三万二一同三万二二同三万二三同三万二四同三万二五同三万二六同三万二七同三万二八同三万二九同三万三十同三万三一同三万三二同三万三三同三万三四同三万三五同三万三六同三万三七同三万三八同三万三九同三万四十同三万四一同三万四二同三万四三同三万四四同三万四五同三万四六同三万四七同三万四八同三万四九同三万五十同三万五一同三万五二同三万五三同三万五四同三万五五同三万五六同三万五七同三万五八同三万五九同三万六十同三万六一同三万六二同三万六三同三万六四同三万六五同三万六六同三万六七同三万六八同三万六九同三万七十同三万七一同三万七二同三万七三同三万七四同三万七五同三万七六同三万七七同三万七八同三万七九同三万八十同三万八一同三万八二同三万八三同三万八四同三万八五同三万八六同三万八七同三万八八同三万八九同三万九十同三万九一同三万九二同三万九三同三万九四同三万九五同三万九六同三万九七同三万九八同三万九九同四万同四万一同四万二同四万三同四万四同四万五同四万六同四万七同四万八同四万九同四万十同四万一一同四万一二同四万一三同四万一四同四万一五同四万一六同四万一七同四万一八同四万一九同四万二十同四万二一同四万二二同四万二三同四万二四同四万二五同四万二六同四万二七同四万二八同四万二九同四万三十同四万三一同四万三二同四万三三同四万三四同四万三五同四万三六同四万三七同四万三八同四万三九同四万四十同四万四一同四万四二同四万四三同四万四四同四万四五同四万四六同四万四七同四万四八同四万四九同四万五十同四万五一同四万五二同四万五三同四万五四同四万五五同四万五六同四万五七同四万五八同四万五九同四万六十同四万六一同四万六二同四万六三同四万六四同四万六五同四万六六同四万六七同四万六八同四万六九同四万七十同四万七一同四万七二同四万七三同四万七四同四万七五同四万七六同四万七七同四万七八同四万七九同四万八十同四万八一同四万八二同四万八三同四万八四同四万八五同四万八六同四万八七同四万八八同四万八九同四万九十同四万九一同四万九二同四万九三同四万九四同四万九五同四万九六同四万九七同四万九八同四万九九同五万同五万一同五万二同五万三同五万四同五万五同五万六同五万七同五万八同五万九同五万十同五万一一同五万一二同五万一三同五万一四同五万一五同五万一六同五万一七同五万一八同五万一九同五万二十同五万二一同五万二二同五万二三同五万二四同五万二五同五万二六同五万二七同五万二八同五万二九同五万三十同五万三一同五万三二同五万三三同五万三四同五万三五同五万三六同五万三七同五万三八同五万三九同五万四十同五万四一同五万四二同五万四三同五万四四同五万四五同五万四六同五万四七同五万四八同五万四九同五万五十同五万五一同五万五二同五万五三同五万五四同五万五五同五万五六同五万五七同五万五八同五万五九同五万六十同五万六一同五万六二同五万六三同五万六四同五万六五同五万六六同五万六七同五万六八同五万六九同五万七十同五万七一同五万七二同五万七三同五万七四同五万七五同五万七六同五万七七同五万七八同五万七九同五万八十同五万八一同五万八二同五万八三同五万八四同五万八五同五万八六同五万八七同五万八八同五万八九同五万九十同五万九一同五万九二同五万九三同五万九四同五万九五同五万九六同五万九七同五万九八同五万九九同六万同六万一同六万二同六万三同六万四同六万五同六万六同六万七同六万八同六万九同六万十同六万一一同六万一二同六万一三同六万一四同六万一五同六万一六同六万一七同六万一八同六万一九同六万二十同六万二一同六万二二同六万二三同六万二四同六万二五同六万二六同六万二七同六万二八同六万二九同六万三十同六万三一同六万三二同六万三三同六万三四同六万三五同六万三六同六万三七同六万三八同六万三九同六万四十同六万四一同六万四二同六万四三同六万四四同六万四五同六万四六同六万四七同六万四八同六万四九同六万五十同六万五一同六万五二同六万五三同六万五四同六万五五同六万五六同六万五七同六万五八同六万五九同六万六十同六万六一同六万六二同六万六三同六万六四同六万六五同六万六六同六万六七同六万六八同六万六九同六万七十同六万七一同六万七二同六万七三同六万七四同六万七五同六万七六同六万七七同六万七八同六万七九同六万八十同六万八一同六万八二同六万八三同六万八四同六万八五同六万八六同六万八七同六万八八同六万八九同六万九十同六万九一同六万九二同六万九三同六万九四同六万九五同六万九六同六万九七同六万九八同六万九九同七万同七万一同七万二同七万三同七万四同七万五同七万六同七万七同七万八同七万九同七万十同七万一一同七万一二同七万一三同七万一四同七万一五同七万一六同七万一七同七万一八同七万一九同七万二十同七万二一同七万二二同七万二三同七万二四同七万二五同七万二六同七万二七同七万二八同七万二九同七万三十同七万三一同七万三二同七万三三同七万三四同七万三五同七万三六同七万三七同七万三八同七万三九同七万四十同七万四一同七万四二同七万四三同七万四四同七万四五同七万四六同七万四七同七万四八同七万四九同七万五十同七万五一同七万五二同七万五三同七万五四同七万五五同七万五六同七万五七同七万五八同七万五九同七万六十同七万六一同七万六二同七万六三同七万六四同七万六五同七万六六同七万六七同七万六八同七万六九同七万七十同七万七一同七万七二同七万七三同七万七四同七万七五同七万七六同七万七七同七万七八同七万七九同七万八十同七万八一同七万八二同七万八三同七万八四同七万八五同七万八六同七万八七同七万八八同七万八九同七万九十同七万九一同七万九二同七万九三同七万九四同七万九五同七万九六同七万九七同七万九八同七万九九同八万同八万一同八万二同八万三同八万四同八万五同八万六同八万七同八万八同八万九同八万十同八万一一同八万一二同八万一三同八万一四同八万一五同八万一六同八万一七同八万一八同八万一九同八万二十同八万二一同八万二二同八万二三同八万二四同八万二五同八万二六同八万二七同八万二八同八万二九同八万三十同八万三一同八万三二同八万三三同八万三四同八万三五同八万三六同八万三七同八万三八同八万三九同八万四十同八万四一同八万四二同八万四三同八万四四同八万四五同八万四六同八万四七同八万四八同八万四九同八万五十同八万五一同八万五二同八万五三同八万五四同八万五五同八万五六同八万五七同八万五八同八万五九同八万六十同八万六一同八万六二同八万六三同八万六四同八万六五同八万六六同八万六七同八万六八同八万六九同八万七十同八万七一同八万七二同八万七三同八万七四同八万七五同八万七六同八万七七同八万七八同八万七九同八万八十同八万八一同八万八二同八万八三同八万八四同八万八五同八万八六同八万八七同八万八八同八万八九同八万九十同八万九一同八万九二同八万九三同八万九四同八万九五同八万九六同八万九七同八万九八同八万九九同九万同九万一同九万二同九万三同九万四同九万五同九万六同九万七同九万八同九万九同九万十同九万一一同九万一二同九万一三同九万一四同九万一五同九万一六同九万一七同九万一八同九万一九同九万二十同九万二一同九万二二同九万二三同九万二四同九万二五同九万二六同九万二七同九万二八同九万二九同九万三十同九万三一同九万三二同九万三三同九万三四同九万三五同九万三六同九万三七同九万三八同九万三九同九万四十同九万四一同九万四二同九万四三同九万四四同九万四五同九万四六同九万四七同九万四八同九万四九同九万五十同九万五一同九万五二同九万五三同九万五四同九万五五同九万五六同九万五七同九万五八同九万五九同九万六十同九万六一同九万六二同九万六三同九万六四同九万六五同九万六六同九万六七同九万六八同九万六九同九万七十同九万七一同九万七二同九万七三同九万七四同九万七五同九万七六同九万七七同九万七八同九万七九同九万八十同九万八一同九万八二同九万八三同九万八四同九万八五同九万八六同九万八七同九万八八同九万八九同九万九十同九万九一同九万九二同九万九三同九万九四同九万九五同九万九六同九万九七同九万九八同九万九九同十万同十万一同十万二同十万三同十万四同十万五同十万六同十万七同十万八同十万九同十万十同十万一一同十万一二同十万一三同十万一四同十万一五同十万一六同十万一七同十万一八同十万一九同十万二十同十万二一同十万二二同十万二三同十万二四同十万二五同十万二六同十万二七同十万二八同十万二九同十万三十同十万三一同十万三二同十万三三同十万三四同十万三五同十万三六同十万三七同十万三八同十万三九同十万四十同十万四一同十万四二同十万四三同十万四四同十万四五同十万四六同十万四七同十万四八同十万四九同十万五十同十万五一同十万五二同十万五三同十万五四同十万五五同十万五六同十万五七同十万五八同十万五九同十万六十同十万六一同十万六二同十万六三同十万六四同十万六五同十万六六同十万六七同十万六八同十万六九同十万七十同十万七一同十万七二同十万七三同十万七四同十万七五同十万七六同十万七七同十万七八同十万七九同十万八十同十万八一同十万八二同十万八三同十万八四同十万八五同十万八六同十万八七同十万八八同十万八九同十万九十同十万九一同十万九二同十万九三同十万九四同十万九五同十万九六同十万九七同十万九八同十万九九同廿万同廿万一同廿万二同廿万三同廿万四同廿万五同廿万六同廿万七同廿万八同廿万九同廿万十同廿万一一同廿万一二同廿万一三同廿万一四同廿万一五同廿万一六同廿万一七同廿万一八同廿万一九同廿万二十同廿万二一同廿万二二同廿万二三同廿万二四同廿万二五同廿万二六同廿万二七同廿万二八同廿万二九同廿万三十同廿万三一同廿万三二同廿万三三同廿万三四同廿万三五同廿万三六同廿万三七同廿万三八同廿万三九同廿万四十同廿万四一同廿万四二同廿万四三同廿万四四同廿万四五同廿万四六同廿万四七同廿万四八同廿万四九同廿万五十同廿万五一同廿万五二同廿万五三同廿万五四同廿万五五同廿万五六同廿万五七同廿万五八同廿万五九同廿万六十同廿万六一同廿万六二同廿万六三同廿万六四同廿万六五同廿万六六同廿万六七同廿万六八同廿万六九同廿万七十同廿万七一同廿万七二同廿万七三同廿万七四同廿万七五同廿万七六同廿万七七同廿万七八同廿万七九同廿万八十同廿万八一同廿万八二同廿万八三同廿万八四同廿万八五同廿万八六同廿万八七同廿万八八同廿万八九同廿万九十同廿万九一同廿万九二同廿万九三同廿万九四同廿万九五同廿万九六同廿万九七同廿万九八同廿万九九同三十万同三十万一同三十万二同三十万三同三十万四同三十万五同三十万六同三十万七同三十万八同三十万九同三十万十同三十万一一同三十万一二同三十万一三同三十万一四同三十万一五同三十万一六同三十万一七同三十万一八同三十万一九同三十万二十同三十万二一同三十万二二同三十万二三同三十万二四同三十万二五同三十万二六同三十万二七同三十万二八同三十万二九同三十万三十同三十万三一同三十万三二同三十万三三同三十万三四同三十万三五同三十万三六同三十万三七同三十万三八同三十万三九同三十万四十同三十万四一同三十万四二同三十万四三同三十万四四同三十万四五同三十万四六同三十万四七同三十万四八同三十万四九同三十万五十同三十万五一同三十万五二同三十万五三同三十万五四同三十万五五同三十万五六同三十万五七同三十万五八同三十万五九同三十万六十同三十万六一同三十万六二同三十万六三同三十万六四同三十万六五同三十万六六同三十万六七同三十万六八同三十万六九同三十万七十同三十万七一同三十万七二同三十万七三同三十万七四同三十万七五同三十万七六同三十万七七同三十万七八同三十万七九同三十万八十同三十万八一同三十万八二同三十万八三同三十万八四同三十万八五同三十万八六同三十万八七同三十万八八同三十万八九同三十万九十同三十万九一同三十万九二同三十万九三同三十万九四同三十万九五同三十万九六同三十万九七同三十万九八同三十万九九同四十万同四十万一同四十万二同四十万三同四十万四同四十万五同四十万六同四十万七同四十万八同四十万九同四十万十同四十万一一同四十万一二同四十万一三同四十万一四同四十万一五同四十万一六同四十万一七同四十万一八同四十万一九同四十万二十同四十万二一同四十万二二同四十万二三同四十万二四同四十万二五同四十万二六同四十万二七同四十万二八同四十万二九同四十万三十同四十万三一同四十万三二同四十万三三同四十万三四同四十万三五同四十万三六同四十万三七同四十万三八同四十万三九同四十万四十同四十万四一同四十万四二同四十万四三同四十万四四同四十万四五同四十万四六同四十万四七同四十万四八同四十万四九同四十万五十同四十万五一同四十万五二同四十万五三同四十万五四同四十万五五同四十万五六同四十万五七同四十万五八同四十万五九同四十万六十同四十万六一同四十万六二同四十万六三同四十万六四同四十万六五同四十万六六同四十万六七同四十万六八同四十万六九同四十万七十同四十万七一同四十万七二同四十万七三同四十万七四同四十万七五同四十万七六同四十万七七同四十万七八同四十万七九同四十万八十同四十万八一同四十万八二同四十万八三同四十万八四同四十万八五同四十万八六同四十万八七同四十万八八同四十万八九同四十万九十同四十万九一同四十万九二同四十万九三同四十万九四同四十万九五同四十万九六同四十万九七同四十万九八同四十万九九同五十万同五十万一同五十万二同五十万三同五十万四同五十万五同五十万六同五十万七同五十万八同五十万九同五十万十同五十万一一同五十万一二同五十万一三同五十万一四同五十万一五同五十万一六同五十万一七同五十万一八同五十万一九同五十万二十同五十万二一同五十万二二同五十万二三同五十万二四同五十万二五同五十万二六同五十万二七同五十万二八同五十万二九同五十万三十同五十万三一同五十万三二同五十万三三同五十万三四同五十万三五同五十万三六同五十万三七同五十万三八同五十万三九同五十万四十同五十万四一同五十万四二同五十万四三同五十万四四同五十万四五同五十万四六同五十

の圖ハ年中行事畫巻後三年畫巻圓光大師畫詞傳など茂木ゞ処ゝ〻ゝいとおほのり

年中行事畫巻所載長刀

後三年畫巻所載長刀

圓光大師畫詞傳所載長刀

大長刀（おほなぎなた）義經記盛衰記平家物語小長刀盛衰記太平記参考太平記参考本門

打物（うちもの）平家物語長打物（うちもの）赤松物語薙太刀（なぎなた）異制庭訓往來長太刀（なぎなた）下學集小そり刀乃長刀回國雜記異制庭訓往來高館草子白柄長刀平家物語葉の大長刀長門本平家物語蛭巻（ひるまき）ノ長刀平家物語盛衰記銀柄貝鞘長刀（かひざやの）桂川地蔵記棒長刀（ぼうなぎなた）共ゝ漢土ゝ其製さはぐ〻ゝり搗馬突（つくばつと）鎗雙鉤（さうこう）鎗單鉤（たんこう）鎗鐶子（くわんし）鎗素木鎗（そぼう）大寧筆（たいねいひつ）鎗拐突（かいとつ）鎗拓鎗（かいぢ）鎗拐双鎗（かいさう）鎗刀戟（たうげき）刀龍刀（りうたう）鎗鐺鉈（たうだ）短刀鎗短鉈（たんだ）鎗標鎗（へうさう）長鎗鎗梨花（りくわ）鎗桜鎗（おうさう）鎗掉刀（たうたう）鎗鵜頂（ていこう）鎗錐鎗（きりさう）鎗桜鎗（おうさう）鎗あどは槍鑓ゝお初ゞ槌（かんぼう）棒詞薬棒大棒棍（こん）少林棍（しょうりん）

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

鐵鏈夾棒提棒白棒木槍梧木なども棒なり
釣鎌刀鐵釣刀鐵釣鎗屈刀偃月刀眉尖刀鳳嘴刀筆刀なども長刀におなじ其圖説は三才圖會器用部武備志百三の巻百四兵仗記清人王睥撰戴に見もの巻百九の巻昭代叢書中

鐵把長脚鑽狼牙棒敦鏽なとも矛棒の屬なり

倭漢三才圖會一の巻に圖を載て注し釰棒左須未太毛知利敦鏽を行列の執持る貌天正記五のにみえ番所の鐵把長脚鑽鏽棒なども立並べる圖東海道名所記二のに載る甲陽軍鑑七の巻のも鏽かけとあるは鏽を掛置貝くまで鏽長刀を諸侯大夫の行列の儀仗の用ひは甲冑を帶して持せる兵仗と宮衛令義解に用之征伐爲軍器即チ同令義解に用之威儀故曰儀仗と見えて今の侯家行列の鏽長刀は儀仗にはあらざれば後なるべしそは承應校大閲軍記画に毛鏽鳥毛鏽長刀弓狹箱なども持せたる行列乃畫あり又北条五代記乃画にも鏽長刀に鞘袋をかけ或は毛鏽鏽印なと莊ひ立狹箱持せるさまなり

雜話上巻に秀頼伏見より上洛海を來る挾箱の大きなる箱なり人形のあやつり有御幸町通りを興に銭をいるれバ轉倒にる云々又云挾箱の前と云ふは行列の者員を挾箱の先をま

ル袋ヲ用ル事スタレテ竹ワリカケテ衣服ヲ
掻(カシ)テ持(タヅ)セシトゾ是ヲヨハサミ竹ド(ト)イフ其後ハサミ竹ヲ止テ箱ニ作リ衣服ヲ入シ也此箱ハ名ヲ挟箱ト云々秋草ノ道具ナド持セシ物ニ付(ツケ)テ出(イデ)ル代(タイ)ニ作リ衣服ヲ入テ持セシ也古代ハ衣服ヲ上ざ(サ)ル袋ニ入テ供事ハなき物ニ付シ也云々秋草ノ道具ハ袋ニ入テ好(コノ)ミ袋ヨとかいふて衣服ヲ挟箱ノ名ハ古ヘ近ク行(ユク)ニ従(シタガ)ヒ変(カハ)リ来(キタ)レル事ニて古ヘ

まゝのあらまし見聞せし事を記したるを永禄天正の比乃證とにらべ一参考太平記（廿巻）のまゝ鎗持數多走り寄馬ノ太腹刺て刎落サせと仰せたび鑓を持しる兵士の事にて供鑓の證にハ忘れし一奇異雑談集（一巻）のに應仁乱後云々中間ハ肩衣よりの跡乃鑓持云々義残後覺（一巻）のにのち若黨道具の者云々此書ハ文禄五年三月の著作まて道具の者といへるハ鑓長刀持乃事と聞の寛永三年召列人數覺ま二百石若黨二人鑓持一人甲箱一人云々千石若黨七人鑓持三人弓一張鉄炮一挺甲箱一人馬取四人狭箱二人草履取二人小者三人云々なとゐるを考るに足利将軍の代の末より供鑓ハ持せしめしと行列ま粧立るほどの事ハ形のりしに文禄慶長なとの比泰平ま逢し日諸侯大夫士聚落大坂伏見なとに出仕の時の礼容ま立列しに比と見やさまて東迁乃後その礼式定りて今のゝ厳重にハあるまじ甲陽軍鑑十五の巻ま鑓奉行の名しゐの事ゝ戦場にての事

ゐれむ儀仗のをりの所役と異こと賢永板乃大閤
記ま行列警固番所乃儀仗ま板ま鏽長刀釰棒又手俣
ゐおりなど立並たるがあまきど寛永乃古板本に
みえざきバ再板ゐさかしらを加へしものにて當
時乃證ま引用べくもいらざさて矛槍類乃説倭
漢三才圖會廿一の巻本朝軍器考七の巻にみえた
せバ合考べし行列の儀仗は纛鞬三仗の軍礼ま
起きりこれを建纛といふ古今注上巻纛鞬三仗の条ま
起自周武王之制也武王代紂散鹿臺之財發巨橋
之粟歸馬于華山之陽放牛于桃林之野鑄劒戟以
爲農器示天下不復用兵武王以安必防危理必防
亂故設弓矢劒以軍儀示不忘武也舊儀輦轝三仗
首秣額紅謂之纛鞬三仗也通鑑綱目四十八百廿
オ唐憲宗元和十二年条集覽ま具纛鞬出迎此軍
礼也以示尊敬左傳右属纛鞬注杜預曰纛翰也馬
上曰鞬鞬建也言弓矢並建立其中也記樂記曰武
王克殷倒載干戈包之以虎皮將師之士使爲諸侯
名之曰建櫜鄭玄曰包干戈以虎皮明能以武服兵
也建讀爲鞬字之誤也兵甲之衣曰櫜鞬櫜言閉藏
兵甲也櫜音羔鞬音巨展巨偃二反又史記樂書曰

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

将率之士使為諸侯名之曰建櫜注王肅曰所以能櫜弓矢而不用者将率之士力也故建以為諸侯謂之建櫜也今李憩具櫜鞬出迎蓋取此義也おどあるまて知べし秩苑日渉三巻のまゝ諸侯儀従引馬をいひさりき

這鎗棒長刀考一巻受

阿淡両州大守君之命所撰上也于時文政十一歳在戊子春三月念四日

第十児女狗の妻まおもる世話

世話まゝ或家の小女兒の乳母いとゝものぐさゝまゝ小女まゝ糞せゝむる戻り家の犬を喚ていろて此糞を食掃ひねさゝば此兒成人てその後尓ゝ妻ゝ得させんといふさゝびしゝまゝ犬尾戻振てその糞をくひたてぬさて兒年比まゝ成てその後彼の犬裾をくはへて深山まねてゆき女戻とりてみ犬日ごまゝ山を下さゝ食を得て女戻養ふおどまゝある日獵師こゝを見出て密まゝ犬を射殺ゝ女を奪て妻ホーさりゝがはゞ犬を殺せるよゝ戻かさゝりこゝ遂まゝ妻まゝ殺さゝるよゝいへりこゝ唐の枝書郎李隠の瀟湘録の説

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

ゟ抜り詰今説消説略部雑記三十二巻中ゟ収たり

善醫其妻卽趙州當人薛氏女也性淫佚修已家養一白犬甚愛之每與珍饌食後修已出其犬突入室內欲齧已妻薛仍似有姦私之心薛氏因怪而問之曰爾欲私我耶若然則勿齧我犬卽搖尾登其床薛氏懼而私焉其犬畧不異於人爾後每修已出必姦淫無度忽一日方在內同寢修已自外入見之因欲殺犬犬走出修已怒出其妻薛氏後歸薛贊半年其犬忽突入贊家口銜薛氏髻而背負走出家人赶奪之不得不知所之犬攜薛氏直入恒山潜之每至夜卽下山竊所食之物晝則守薛氏經一年薛氏有孕生男雖形貌如人而編身白毛薛氏只於山中撫養之又一年其犬忽死薛氏乃抱子迤邐出山入冀州乞食有知此事者遠詣薛贊家以告贊遽令家人取至家其所生子年十七形貌醜陋性復兇惡每私走作盜賊或旬餘或數月卽復還薛贊患之欲殺焉薛氏乃私誡其子曰爾是一白犬之種也幼時我不忍殺爾今日在他薛家豈合更不謹若更私出外爲賊薛家人必殺爾實恐爾累及他改之其子大號法而

言曰我稟犬之氣而生也無人心好殺爲賊自然耳何以爲過薛賛能容我卽容之不能容我卽當與我一言何殺我邪母當自愛我其遠去不復來矣薛氏豎番之不得乃謂曰去卽可何不時來一省我也我是爾之母爭忍永不見也其子又號哭而言曰後三年我復來耳攜劒拜母而去又三年其子領群盗千餘人至門自稱曰將軍旣入拜母後令群盗殺其薛賛家屬唯番其母焚其宅攜母而去と見ゆ後漢書

（八十六の巻）南蠻傳ゟ昔高辛氏有犬戎之寇帝嚳患其侵暴而征伐不剋乃訪募天下有能得犬戎之將吳將軍頭者購黃金千鎰邑万家又妻以少女時帝有畜狗其毛五采曰槃瓠魏畧曰高辛氏有老婦居正室得耳疾挑之乃得物如蜥蜴大盛婦人盛以小甌覆之化爲犬其文五采因名曰槃瓠俄頃出甌形變遂爲犬遂因名曰槃瓠下令之後槃瓠銜人頭造闕下群臣怪而診之乃吳將軍頭也診候視也帝大喜而槃瓠不可妻之以女又無封爵之道議欲有報而未知所宜女聞之以爲帝皇下令不可違信因請行帝不得已乃以女配槃瓠槃瓠得女負而走入南山止石室中所處險絶人跡不至云々經三年生子十二人六男六女槃瓠死後云々其後滋蔓号蠻夷云々ゟ是ゟ同日の談といふべし

第十一孔子の婦考子の父母の家阿弥陀
如來の父母と子
前涼録張重華傳ま五年重華講ニ羣寮ヲ于閑豫庭ニ論
講經義ヲ顧問索綏ニ曰孔子婦ハ誰家ノ女老聃ガ父字ハ爲レ何
四皓既ニ安大子ヲ住乎還山乎綏曰孔子婦姓ハ幵官氏
老聃ガ父名ハ乾字元景胎刖無耳一目不レ明孤單七十
二無シ妻與隣人益壽氏老女野合懷胎八十年乃生ム
老子ヲ四皓還否臣尚未レ悉重華曰鄉不レ知ラ乎四皓死ス
千長安ニ有リ四皓冢爲レ不レ還ラ山ニ也云々按ま李贄ガ疑
耀一の巻ま孔子無キ鬚眉説ハ誤のよいへり
づれも孔子の上ま就ク〻る奇説こ鼓音聲經ま阿
弥陀佛與聲聞俱其国号清泰聖王所レ住其城縦横
十千由旬ニ於中充満刹利之種阿弥陀如來應正遍
知父名月上轉輪聖王其母名曰殊勝妙顔子名月
明ト云々按ニこれ阿弥陀如來の上ニ就ク〻る説こ
如來妻なくして子の月明を生たるこ奇説こ
第十二夫婦喧嘩
夫婦喧嘩とてやいもすれば夫その妻ま輕蔑セラ
をさるゝハまも至るハまと夫ま
るいめへこ孔叢子答問篇ま梁人有リ陽由者其力

扛鼎伎巧過人骨騰肉飛手搏蹻獸國人懼之然無
治室之訓礼教不立妻不畏憚相泄瀆方乃積怨妻
坐於牀答焉左手建杖右手制其頭妻亦奮悉因投
以背使杖撃之而自撮其陰由乃仆地氣絶而不能
興鄰人聞其出々也窺而見之趨而救之妻愈鬪念
莫肯舎旃或發裳煞後乃放失以無敵之伎力而劣
於女子之手者何也輕之無備故也云々按後漢の
梁冀の剛強好惡あるも妻の孫氏は制せらたを
ハ勇猛の士といへとも怯於妻女は和漢いとおな
ほのり

第十三情

情ハナサケと訓ベし神代記上は情と讀るも十
サケと訓ざれバきこえず人は心意志思慮量念
情魂魄等の別あり心は胸下ふたりてコヽロと
凝ものなれもの名なバ同義と此心の動んとしてま
もさるをもの名なバ志といふコヽロザシと
ざせる我志といふコヽロザシと訓るハ心指の
義こ心指より進出る我コヽロバセといふハ心
馳の義まて意の字我訓り心の奥ま情なりナサ
ケと訓て心裏の名こ女隱を情實などいふも心

の奥の情(ナサケ)抜通(カヨ)ふる實(アヂ)といふ義こさればこの情(ナサケ)なる情なきなどいふも眞實の情の有無をいへり思慮念量ハ心志意情の用ゐてこゝろの事ハ別て考記べし孝經援神契古書廿微七ゝ情者魂之使性者魄之主情生二于陰一以計念一性生二于陽一以理契一魄白也魂芸也白明白也芸芸動也形有二體質一取二明白一爲二名氣惟噓吸取二芸動一爲二義云々孫毅按ゝ白虎通魂魄者何謂魂猶伝伝也行不レ休二于外一也主二于情一魄者迫然著人主二于性一也魂者芸也情以除穢魄者白也性以治内又微靈書云人有二三魂一一曰爽靈二曰胎光三曰幽精常呼念其名則魂安又身也生魂者玄父変一成神生魄者玄母化二成生身一と見ゆ

第十四碁子麺(キシメン)

庭訓往來扶翼下巻廿八ゝ碁子麺貞丈云碁子ハコイシ也小麦粉ヲ水ニテ固ク子リテ枚ノ上ニテ薄ク伸シ平(ヒラ)メテ細キ竹ノ筒ノ切口ノ内ノ肉ヲ削リ去リ皮ノ方ヲウスクナルヤウニ及ノ如クシテ其筒ニテ右ノ伸シタル麺ヲ押シ切レハ碁石ノ如クニ切ルト也ソレヲ煮テ煎豆(イリマメ)ノ粉ヲ

衣ニ掛ルヿ今モ薩州ナドニハ其製アリ是欤云
々信濃奇區一覽一の巻木曽踊の条ニ西野末川
辺正月の年ニ先村長の家ニ至り御免あるといふ
へバ主ゟゝれといふ是ハ正月のミの詞ニ錢九
文づゝ出ざと云て出ス暮子麺とて蕎麦を二
三寸ニ角ニ切り汁ニ煮て口祝ありとて膳ニ出
ス雑煮の意あるべーと云々與清按ニ此製諸國
ニ残せるあるべーかいもちひも信濃にてハ蕎
麥のきの事ふいへりそは掻餅の義欤されど古
のかい餅は酒飯論九丁右
のかい餅は酒飯論九丁右
冬の始の祝ニハみの
こと名づくるかいもちひ秋の鹿ニハあらぬと
ゟ紅葉を敷ないとやさー犬筑波集冬部ニ山寺の
忘んはちかいもちひの子のなど見えて今の
亥子の牡丹餅の事ニかいもちひの古き所見及ぶ
萩の花など云事別ニふべけをバおゝニハ省
く

第十五楊枝隱

俗ニ楊枝隱とて楊枝を持て咒文を誦ける隱形
の法ありといへり相模國藤澤の宿ニて或人愚
者ニ欺て僞て其法を授け此彼いひ合せて能隱

きくるなーふもてあーたゝ
や居るとて打ち又ハあ
とバるを愚者ハ實とおもひいよ〳〵呪を唱て
志んどねさりとちん晉書顧愷之傳ヨ桓玄嘗以
一ノ柳葉紿之曰此蟬所翳葉也取自蔽人不見己
愷之喜引葉自蔽玄就溺焉愷之信其不見己也甚
以珍之とハいろハ同日の談といふべし

第十六天保の年号

宋洪邁の容齋續筆十三の巻紀年兆祥の条ヨ自
漢武建元以來千餘年間改元數百其附會離合爲
之辭者不可勝書固亦有曉然而易見者如晉元帝
永昌郭璞以爲有二日之象果至冬而亡旦靈寶大
亨識者以爲一人二月了果以仲春敗蕭棟武陵王
記同歳竊位皆爲天正以爲二人一年而止其後皆
然齊文宣天爲一大人呂十果十年而終然梁明帝
蕭帰亦用此而盡二十三年或又云帰葬仌一邦故
非機祥所係齊後主隆化爲降死安徳王延宗徳昌
爲得二日周武帝宣政爲字文亡旨宣帝大象爲天
子冢蕭琮晉出帝廣運爲軍走隋煬帝大業爲大苦
未唐僖宗廣明爲唐去丑而著黄冢日月以兆巣

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

賊之禍欽宗靖康爲立十二月庚果在位滿歲而高
宗由康邸建中興之業熙寧之末將改元近臣撰三
名以進曰平成曰美成曰豐亨神宗曰成字員戈美
成者大羊員戈亨字爲子不成不若去亨而加元遂
爲元豐若隆興則取建隆紹興各一字與唐正元取
正觀開元之義同已而嫌與顯亮正隆相近故二年
即改乾道及甲午改純熙既已布告天下予時守贛
賀表云天永命而開中興方茂十年之統時純熙而
用大介載新記號之文迨詔至乃爲淳熙蓋以出處
有告成大武之語故不欲用云々本朝天正の年号

十九年兵革の中よりて御極安らば正親町
後陽成兩帝まるまりさせ
ら一今の天保も此類なんまうしろめ
さきと別る佳瑞の字故撰用なへ去のば文宣
の天保改元の事ハ北齊書四の巻文宣記ま改武
定八年爲天保とありまる元秘抄四の巻和漢年
号字難事の条ま天保天治三年難言敦基朝臣先
年撰進之時有難言上々下々可憚又北齊年号僞
朝也保安五年爲隆云秦垢皇刻石表文中之字也
又報上受禄之文難採用周公旦申成王之申旦不

寐憂天保之未定此句可憚右兵衛督難云天保者
漢土寺名也とも見ゆ按元秘四巻倭漢年号の事
を注せる寫本に作者未詳

第十七波江ノエフユヤカス生なといふ詞

本草倭名巻十一草部に鹿藿陶景注云葛根之苗
又名鹿藿和名久須加都良乃波衣云々醫心方一
の巻にも見ゆ新撰字鏡禾部に稞更生比古波江
云々倭名抄木具部に蘗簍要云斬而復生曰蘗和
名比古波衣云々按にこは比波江ハ草木の生
ばる枝いふ淺茅生豆田栗田あどの布も波由の
約言ふて同義に恩頼の布由も亦通ひそは歌詞
考へいへるを考合ふべし水に漬て物をほとび
さするをふやのふといふも多くある良ないへ
り今まで小き物の大きくなるも生出ごと
けをハ俗言にフエルといへり草木の枝葉のそ
えしげるといふも栄滋るまて栄も布江の通音
に栄ある栄きといふも枝葉のそえしげるハ
光彩の添ものにホそれホたとへ枯萎にもハ光彩
おくある枝たとへていふ詞に

第十八ふにべ

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　　ガラス使用

物語書ふみと詞おほのり新撰字鏡火部ほ
焔烟氣也布須毛留云々本草倭名十一巻草部下
ほ馬勃和名於介布須倍云々醫心方一ほ於介
布須倍晃ぬと煙氣をいひてそれより煙ー責
る伐ふくべといふこゝより

第十九山椒の魚并はじかみ魚

箱根山ほ川椒の魚ぬり蝶螈の形ほ似て頭円く
頸細ー長身細尾四足あり山川の底ほ栖へ
とし冬ハ陸ほ出て石間落葉の下などほ隠る好
て川椒の木ほ上るめへほ川椒の魚とよぶ小兒
の疳を治といふ又畿内ほもサンセウ魚ぬり石
見ほてハンザケ美作ほてハンザキ丹波ほてハ
ダカス又アンコウあと呼よし本草啓蒙四十の
巻四十九ほ見ぬ又奥州岩城ニテハ山鮟鱇又山
カジカといへりこれ本草綱目の鮟鱇魚こ鯨鮟の
鮟と同名異物こ本草倭名巻十六虫魚類部ほ鰻
鱺魚鱒鮎魚音語鵜反有四足和名波之加美以乎云々醫
心方諸藥和名部魚類の条ほ鰻鱺魚和名波之加
美以乎云々和名抄龍魚類部ほ鰻鱺魚本草云鰻
鱺和名波之加美伊乎云々なども見えて波之加美

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

八川椒の倭名と本草倭名、木、中は蔡椒和名加波
々之加美云々山茱萸、和名以多知波之加美云々
醫心方和名、部は呉茱萸、和名加波々之加三又古布之波
字鏡、木、部は檄、久万波自加弥云々和名抄、薑蒜、部
は蜀椒、和名奈留波之加美一云、不佐波之加美辛
夷和名古不之波之加美同書木、部は蔓椒、和名以
多知波之加美呉茱萸、和名加波々之加美云々
とあるこの蔡椒蜀椒山椒大同少異なれど加
波々之加美以多知波之加三加良波之加三古布

之波之加三久万波之加三の中は今の山椒犬山
椒朝倉山椒辛皮などと有るべしく山椒は
波之加美の名のせバ山椒の魚を波之加美以乎
とハいへるに因は云堀川右大臣頼宗集は命
婦の実梨、木ぶのみの花をおこせたるに
花のみ形ちりての後はのらくらして残りたる
のハぶのみの花。返ー
君ハさハかりき花をそこのみけるに世のハき
ものとおもひけるの形。此歌は、山椒の花を三月
末四月ふかりて咲ものなれバおくよ免るこ

又行宗集は女院乃中納言殿のむ
のと〳〵しきけのしゝろと有しのバかど
しきものまねゝしとてつ
納言殿むどのゝめるもはきさる心のかかど
かどしゝて是をおこしかへ返しせよと有しのバ
のゝくゝしてめまつくかれ今よりハ此たゞの
みをあぶよ思ハど是ハ山椒の芽ある
第二十もやし
今世小豆のもやし料理家まて用ふ又豆のも
やしハ麥芽とて薬品ハ用ひ

又飴を造るに用ふ其外独活防風山椒芽かとの
もやしミか土室を構て非時の珍物を造るとお
ほのり本草倭名十九米穀部ハ大豆黄巻陶景注ニ
曰以大豆爲蘗牙生便乾之名也和名末女乃毛也
之云々ハ蘗米萌牙者通爲蘗和名毛也之云々
醫心方一の巻諸薬和名部米穀の条ハ大豆黄巻
和名末女乃毛也之云ロ又蘗米和名毛也之云々
和名抄麹蘗類部ハ説文云蘗牙米也本草云蘗米ハ
味苦無毒又有麥蘗和名與祢乃毛夜之云々かど
見えてもやしハ令萌の義ニ芽を女といふも毛

江の約かり關東の俗語ヨ草木の芽を保江といふ漆保江地膚保江曳笶保江あとミか毛江の通音こそハ草木の芽ハ火の燃るごくやゝ著き出るのゆゑの名こメグムといふも萠含こツノグムハ角のごくに芽を含ふくらこ神代記上ヨキザシナフクメリとあるハ氣指を含るまゝそれより芽出るよりこ葦牙の貝まだとへて神の始生をいへるこ

第二十一噴嚏くさめ

新撰字鏡連字部ヨ噴嚏波奈比留云々倭名抄鼻口類部ヨ玉篇云嚏丁計反噴鼻也和名波奈比流云々袖中抄廿の巻となりてふもちひる条ヨいてゝいの人をとゝ給んよーふきヨ隣の方ヨ鼻ヨひぬうふ與清曰古今雅諧歌しも顯昭云大なひるハ何事ふしよからぬ事こ年始ヨもちひつゝバいをひ事をいひて祝ふこされバ人のものへいのんばるはゞめふ隣のくるひんを聞てもくそーかゝん人ハ立のへらべき也毛詩ヨハ嚏云人道我又願言則嚏四分律云時世尊嚏諸比丘兜願言長壽時有居士嚏乃礼拜比丘佛冷比丘

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

咒願言ニ長壽ト今按ニ今俗正月元日若早旦嘸即稱曰ニ
千秋万歳急々如律令ト是レ縁レ也何只在ニ元日一哉尋常
ニ禱レ之ヲ又万葉ニ云與清白十一の巻ニ見ヘ
うちなげき鼻をぞひつる釼太刀身もそふ妹
の思ひけるかも此歌ハ思ふ人こんとてもふひ
ると見えたり又云同十一の巻ニ見ヘ
まゆねのきもちひひもとはけやまつらんやいつ
しの見んと思ふヨリ君こをもも同心や奥義抄云
もゝへおるまちひろもいむ事く或物云人の
事を忌ひくハぶつるまちひつそバ叶ハバと
いへり云々古今集俳諧部梁祇注ニ鼻をひるハ
凶事侍るバ行まどき咒ニ隣ニ鼻彼ひよかしと
こ云々栄雅抄ニ人をとゞめんよしなけをバい
ふせん隣ニ鼻ひよかしと思へどそれさへひ
ぬとこ常ニもちひる短命の相と云て世俗ニ
もふひろふ千万歳やなどいふも凶事と知て
の事こ云々家傳ニもちひるを出行ニ嫌ふと
世話ニいへり云々拾芥抄上本巻諸頌部ニ嚏時
頌クサメノトキノ事休息万命急々如律令クサ
メト云ハ是也云々徒然草四十七段ニ或人清水

へ参りける老さる尼の行つれづれなりけるが道
にのちくさめ〳〵といひもてゆきけをバ尼御
前ちかき事をのくはのさやふぞととひけをとも
いまへもせ猶いひやまずりける度々とい
ふて打はら立てやいもふひさる時のくまじな
いねバ死ぬることと申せバ養ひ君のひえの山ま
ちごゐてをはしまぜバ今もやもかひさま
いんとおもへバかく申ぞのしといひてありし
巻せ五丁ま毛詩の注瑣碎録漢書藝文志雑占李濟翁
資暇集容齋隨筆ふど引て注せり簫中抄略頌部
まんかひさるぶりの誦休息万命急々如律令く
さをおどいふハ是まや云々按まクサメとハ鼻
を鼾時クサメといふやをゐこ今俗ハアクツシヨ
ウといふハアクサメの訛しハアも發音こ容
齋隨筆四の巻ま今人噴嚏不レ止者必唾祝レ云有レ人
説我婦人尤甚予按終風詩寤言不寐願言則嚏鄭
氏箋云我其憂悼而不能寐女思我心如是我則嚏
也今俗人嚏云人道我此古之遺語也乃知此風自
古以来有レ之云々

第二十二無難の時畏べし
容齋隨筆六の巻畏無難條は聖人不畏多難而畏無難故曰惟有道之主能持勝使秦不并六國二世未亡隨不十天下服四夷煬帝不亡符堅不平涼取蜀滅燕翦代則無肥水之役唐莊宗不滅梁下蜀則無嗣源之禍李景不取閩并楚則無淮南之失云々按ずるに勝て兜の緒をしめよといへる俗誡實に信ぶべし本朝は北畠顯家新田義興今川義元などの類猛勢忽ち敗亡せるは擧て數へがたし士民孤獨の輩の處世もかくのごとく一旦利德を得富を成ずといへども心おごり家業振はさせば破廢貧亡目前に慎(ツヽシメコトヲ)旃々々

第二十三功程長功中功短功

營繕令に凡計功程者四月五月六月七月爲長功布一常得四功二月三月八月九月爲中功一常得五功十月十一月十二月正月爲短功一常得六功云々義解に謂一常者一丈三尺得五功者其雖功有長知而皆依中爲定法故律云平功庸者計一人一日爲布二尺六寸凡餘條稱常皆准此但賦役令云正役之外須留役者滿三十日租調俱免彼唯依

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

日數立法不依長短之制也云々按ニ中功一日ニ
布二尺六寸ニて五功ニ一丈三尺ニこゝを一常
といふ此一常を四五六七月ハ日永けゝバ長功
とて四功ニて取ニ十十二正月ハ日短けゝバ短功とて六功ニて取ル
分ありゝバ中功とて五功ありて取ル長功ハ一日三尺
二寸五分短功ハ一日二尺一寸六分六厘ニ夫役
を勤る者正丁とて男廿一より六十までの間ハ
一年ニ十日ニ其勤日の代りニ布を出ス庸布
といふ一日二尺六寸宛ニて一年二丈六尺ニ
ハ賦役令ニくハしく延喜式ニハ所々ニ見えたり
唐書百四十六百官志ニ甲工部尚書の条ニ四月ニ至テ
七月ニ爲ニ長功一ト二月三月八月九月ニ爲ニ中功一ト十月ニ至テ正
月ニ爲ニ短功一ト雇者日ニ爲ニ絹三尺一ト云々同四十八百官志
三甲杌將作監丞の条ニ功有ニ長短一ト役者ニ有ニ輕重一ト自ニ四
月ニ距ニ七月ニ爲ニ長功一ト二月三月八月九月ニ爲ニ中功一ト自ニ十
月ニ距ニ正月ニ爲ニ短功一ト云々唐六典七の巻工部の条ニ
凡計ニ功程一者夏三月與ニ秋七月ニ爲ニ長功一ト冬三月與ニ春
正月ニ爲ニ短功一ト春之二月三月秋之八月九月爲ニ中功一ト
其役則依ニ戸部式一云々同廿三の巻將作監の条ニ

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

も見ゆ

第二十四神社を古曽ノ杜と云并古佐こさふく

神社を古曽といふハ延木四時祭式下十七ウ十八ウ攝津國八箇社の中下照比賣社一處或号比賣許曽社云々又十八ウ紀伊國四箇社の中伊太祁曽社一庫云々神名式上十九ウ河内國澁川郡波牟許曽神社云々又十一オ河内國丹比郡阿麻美許曽神社云々又十四ウ攝津國東生郡比賣許曽神社云々又五十丁伊勢三重郡小許曽神社云々神名式下三ウ近江淺井郡上許曽神社云々又十八ウ出雲秋鹿郡許曽志神社云々出雲風土記十六オ秋鹿郡許曽志社云々以上十一所並在神祇官云々天武紀上十三オ社戸臣大口云々新撰姓氏録上八オ攝津國皇別ノ許曽倍朝臣云々円光大師九巻傳一ノ美作國稲岡ノ北ノ荘栃社云々許曽ともいふ詞あり巨勢といへる地名もかよひて聞ゆ比賣許曽ハ下照姫の社にて姫社の義こ伊太祁曽ハ和名抄ノ紀伊國名草郡伊太祁曽神社あり旦来郷日前神戸須佐神戸ちどふ並べり旦

來をイタコと訓ハアシタコのアシの約イなをハ心常陸鹿嶋は潮宮イタメノミヤといへる小祠なり又行方郡板來郷を今ハ潮來と書ハりこいと朝來の誤ならんと門人北条時鄰が鹿嶋志ないへり續日本紀四の巻十三丁ウは紀伊國名草郡且來郷と有りさて伊太祁曽の伊太ハ地名ゐて伊都ゐどいへるもおゐ下心はや近江伊香郡意太神社もよしある名し祁曽ハ社し波ハ年許曽ハ蛇社はや近江伊香郡波弥神社丹後丹波郡波弥神社などもゐ通音はて蛇の義とき云ハ波美ハ閇美とも通いて物を取食虫なをいへり反鼻の音ぞとおもふべらばし阿麻美許曽ハアマヒ社はや古事記上ゐ天神御子之御壽者木花之阿摩比能微坐云々神代紀下ゐ如木華之俄遷轉云々ゐどゐる阿摩比ゐ通へり小ヨ木華許曽小社し上許曽ハ上社なり許曽志ハ社下まや下を志とのミいふハ高倉下ゐど例ゐり社戸ハ社邊し然て東國の方言ゐ田地の日光をさおほふ樹木を古佐といひそれを刈拂を古佐刈といへり夫木抄秋部四十四ゐこさふのばく

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4　ガラス使用

なりなぞゐるみちのくの
夜の月とよめるも蝦夷人の
を吹出して空を暗くゐといへり是
入て後浮あがりて潮をふくをいふといへり
東國にて樹陰をこさといふ又こさは胡笳也と
もいへり蒙求の鄭公霧市も近しと倭訓栞九の巻十
右七十ヨ見ゆ藻塩草七の巻表部にこさとハ古庫

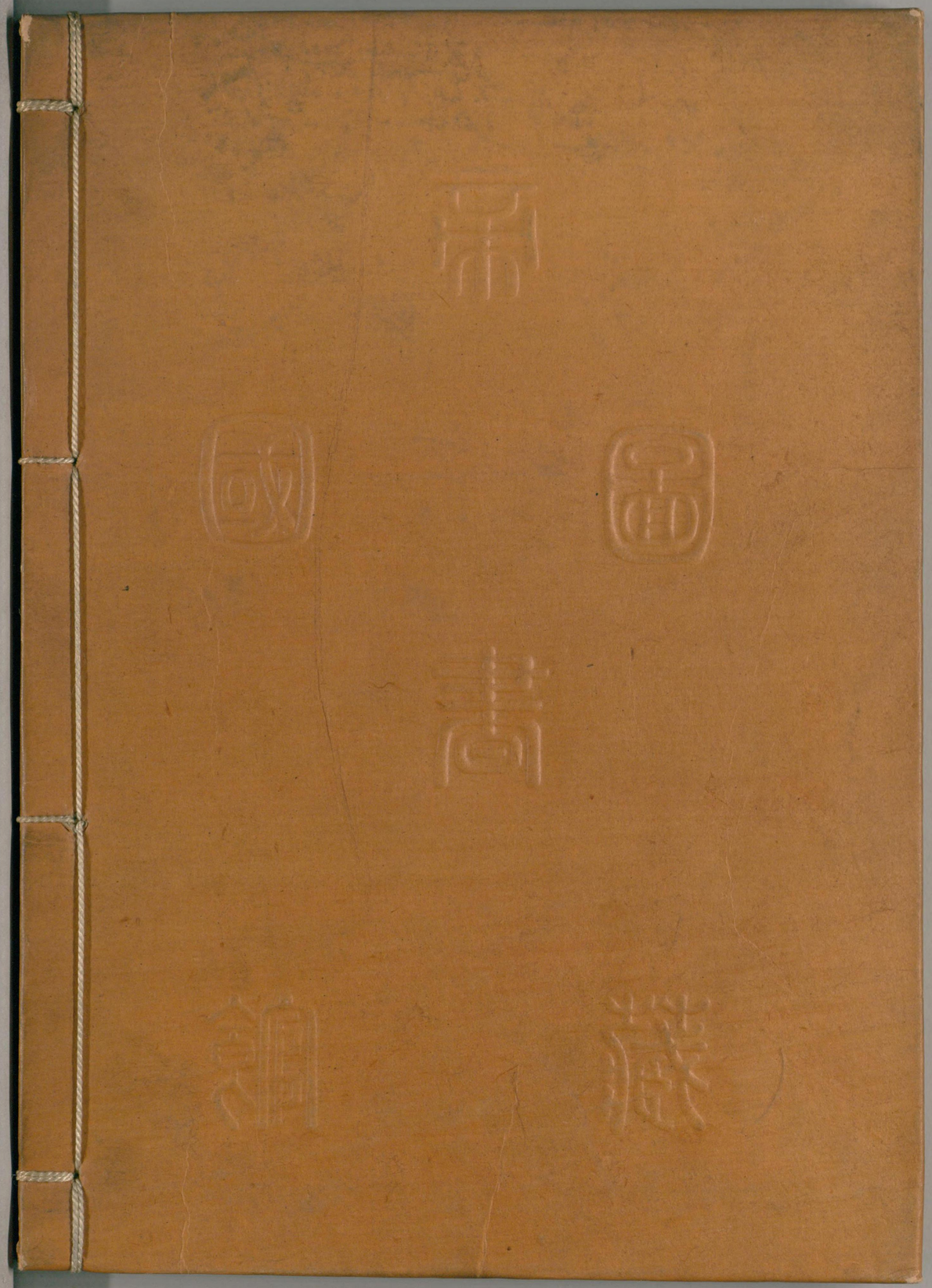
と書々り是ハえぞおかしきにや
もくまくこのさんと思ふ時ハのぶえのやうなる
物をふゝゐ霧のやうなる物おこりて空くらく

成へそれよりてかくよゐと云々呉竹集七の
巻古部にこさとハ笳と書吹物こえぞがふく物
こ蝦夷の敵状よハし日をくもらのさんと思
ふ時ハのふえのやうなる物をふけば霧も似る
る物降て空くらくなるとも一説海に入て浮あ
ぶり汐をふけバそのいき霧のごとくまして曇と
こ古さ吹バくもりもぞゐる云々與清曰此歌夫
は内蝦夷の吹こさ笛の製作を傳へ來て余最上
はくりこりてお秋の夜やえぞおのこさふく空の月紹
巴云々などの胡沙ふくも籠氣の義まて古ハ古

メこ佐は志の通音氣の事こ氣を志といふハ時
雨ル氣暗し嵐ル荒氣こ虹ル丑氣こ咳ル息放こ
されハ曇氣を籠氣いふより陰鬱の名ありいひ
轉せるこ社地ハ杜まて樹蔭の処かもハ古曽と
や古事記雄略の段御歌ま美母呂能伊都加斯賀
母登とある美母呂ハ神社まて伊都賀斯ハ齋津
白檮こ神社の水ありてハ忌憚よりて齋津とい
へり

835
26
4

国立国会図書館　タイトル『松屋外集』 請求記号 835-4　ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『松屋外集』　請求記号 835-4

ガラス使用